

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	35	事業名	保育園児童館等地域交流事業 (中事業名) 保育園事務事業		担当課		子ども未来課					
					予算区分（款-項-目-中事業）		3-2-4-3 保育園事務事業					
					決算書ページ		126 ~ 127 一般					
I 基本情報	総合計画	基本目標	2	子どもが元気に育つまち								
		政策	2	子どもを通じて育て合い育ち合うまちづくり								
		施策	(1)	地域の子育てネットワークづくりの推進								
	その他	開始年度	平成27年度									
		終了予定年度	年度	☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可				
		根拠法令等	児童福祉法、子ども・子育て支援法									
		関連計画	第6次長久手市総合計画、第2期長久手市子ども・子育て支援事業計画									
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		アウトプット（詳細はⅡへ）		アウトカム（詳細はⅢへ）						
		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)						
	【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 60,000 【事業内容】 若者から高齢者までの幅広い世代の地域住民が保育園や児童館等の環境整備や行事にボランティアとして関わることで、子どもたちとの交流を推進します。		【アクションプラン指標】 ①保育園登録者数【半年】 ②児童館登録者数【半年】 【その他の指標】		市民と保育園等が連携した状態となり、園では充実した保育が行われる。 (成果指標名) おたすけ隊参加延べ人数		大事業共通 市民と保育園等が連携することで、子育てしやすいまちになる。					
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度	R9(2027)年度	R10(2028)年度	
		1	【アクションプラン指標】 おたすけ隊登録人数（保育園）	人	基準値	73	目標値	75	76	77	78	80
					目標値	80	実績	73				
		2	【アクションプラン指標】 おたすけ隊登録人数（児童館）	人	基準値	53	目標値	55	60	63	66	70
					目標値	70	実績	72				
		3			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		4			基準値		目標値					
	目標値					実績						
	エピソード	事業開始の背景		若者から高齢者までの幅広い世代の地域住民が保育園や児童館等の環境整備や行事にボランティアとして関わることで、地域の住民の方々と一緒に保育園や児童館のこども達を見守るしくみづくりを推進するため。								
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
		R 6	園児のお散歩に同行していただいているおたすけたいの方の中には、5年以上継続している方もおり、保育士が安心して園児の見守りに加わっていただいている。保育園や児童館によって登録者数に差があるため、引き続き周知を図る。市民に対し保育園のおたすけ隊へ登録の声かけをしているが、想定よりも登録者数が増えなかった。			R 7						
		R 8				R 9						

III 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標							
		おたすけ隊参加延べ人数	人	R4 年度	R5 年度	【現状】 R6 年度	R7 年度	R11 年度			
				1,142	1,292	1,266	1,280	1,320			
		成果達成状況				指標目標値の根拠					
		B	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている				第3期長久手市子ども・子育て支援事業計画の計画期間（R7～R11年度）を踏まえR11年度を目標値として設定。				
	評価の理由、分析										
	微減ではあるが、前年度同程度の参加者であったため。										
	加える変化（ACTION）	今後の方向性	今後の方向性の理由								
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止	幅広い世代の地域住民が保育園や児童館等の環境整備や行事にボランティアとして関わることで、こどもたちとの交流を推進するため。							
		改善ポイント （成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）									
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容					見直し可能年度			
1 登録者数の増加		☐ 拡充 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	保育園や児童館によって登録者数に差があるため、引き続き周知を図り、登録者数、参加者数の増加を図る。					R7年度			
2	☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止										
3	☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止										
IV 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3年間の推移	（単位：千円）		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		事業費	予算	決算	予算	決算	予算	
						380,793	391,855	450,274	511,501	542,315	
		理由			特定財源	合計額	19,609	15,741	14,059	17,094	9,289
		幅広い世代の地域住民が保育園や児童館等の環境整備や行事にボランティアとして関わることで、こどもたちとの交流を推進するため。	（内 国費）			9,919	6,212	3,583	4,776	3,812	
			（内 県費）			3,682	3,196	3,732	5,004	3,992	
			（内 諸収入）			2,542	2,984	1,433	2,110	0	
			（内 その他）			3,466	3,349	5,311	5,204	1,485	
		積算額			一般財源	361,184	376,114	436,215	494,407	533,026	
		未定			R7年度予算の内訳 ＜細々節名、予算額、（R6年度予算額）＞						
		会計年度任用職員期末手当 72,491千円（58,613千円） 会計年度任用職員勤勉手当 60,893千円（49,044千円） 会計年度任用職員通勤費 6,367千円（5,659千円） 保育用備品 680千円（0千円） 修繕料 3,060千円（2,500千円） 通信運搬費 183千円（79千円） 印刷製本費 191千円（133千円） 保育士研修講師料 290千円（250千円） 保育士研修負担金 99千円（79千円） 防火管理者講習会負担金 87千円（86千円） 普通旅費 5千円（5千円） コンビニ収納業務取扱手数料 130千円（130千円） 第三者評価委託 165千円（165千円） 道路通行料 19千円（19千円） 自動車借上料 200千円（200千円） 園児移送料 100千円（100千円） 県社会福祉協議会負担金 4千円（4千円） 県指導保育士連絡協議会負担金 5千円（5千円） 広域保育委託 1,166千円（1,167千円） 損害保険料 168千円（172千円） 口座振替手数料 344千円（370千円） 特別旅費 120千円（239千円） 新入園児データ入力業務委託 0千円（231千円） 保育園ICT保守委託 396千円（792千円） 消耗品費 152千円（5,232千円）									

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	36	事業名	子育て支援センター事業		担当課		子ども家庭課					
					予算区分（款-項-目-中事業）		3-2-1-1 子育て支援センター事業					
			（中事業名） 子育て支援センター事業		決算書ページ		117	～	118	一般		
I 基本情報	総合計画	基本目標	2 ;子どもが元気に育つまち									
		政策	2 ;子どもを通して育て合い育ち合うまちづくり									
		施策	(1) ;地域の子育てネットワークづくりの推進									
	その他	開始年度	平成20年度									
		終了予定年度	年度	☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可				
		根拠法令等	子ども・子育て支援法									
		関連計画	第3期子ども・子育て支援事業計画									
	事業の概要・目的	①事業概要 （どんな取組を行うのか）		②活動指標 （取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか）		③中間成果 （①【対象】がどのような 状態に変わるのか）		④最終成果 （大事業の将来像）				
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 8684 【事業内容】 子育て支援センターで、子育てに不安や悩みを抱える家庭に対する育児相談や育児に関する情報提供をはじめ、育児講座や保護者同士の交流の場を提供する。		【アクションプラン指標】 交流を目的とした講座等の回数【単年】 【その他の指標】 子育て支援センター利用者数【単年】		子育て世帯の孤立化を防ぎ、虐待等のない環境で子育てができる。 （成果指標名） 行事の定員からの予約率		大事業共通 子育てしやすいまちとなる。				
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
		1	【アクションプラン指標】 交流を目的とした講座等の数【単年】	回	基準値	3	目標値	6	6	6	6	
					目標値	6	実績	6				
		2	【その他の指標】 子育て支援センター利用者数【単年】	人	基準値	-	目標値	24,960	24,960	24,960	24,960	
					目標値	-	実績	11,669				
		3			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		4			基準値		目標値					
	目標値					実績						
	事業開始の背景		平成20年度から、次世代育成支援法（当時）に基づき、子育て親子の交流の場の提供、子育て等に関する相談・援助を行うものとして開始した事業。令和3年度から重層的支援体制整備事業の地域づくり事業にも追加。									
	各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
	エピソード	R6	対象同士の交流促進のため、親子サロンの回数を増加した。また、コロナ禍で休止していた絵本読みを本格的に再開し、開館日には毎日実施して、来館者への声かけや相談にも応じるようにしている。その他指標未達成の理由はコロナ禍で一気に利用者数は激減したため、明けてからは徐々に回復してきているものの、まだ目標値には達することはできていない。環境整備と積極的な啓発活動は継続して行っている。				R7					
R8						R9						

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標								
		行事の定員からの予約率	%	4 年度		5 年度		【現状】 6 年度		7 年度		8 年度
				94.5		90.4		96.5		96.5		96.5
		成果達成状況					指標目標値の根拠					
加える変化（ACTION）	B	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている					内容等が対象のニーズに合っているかどうかが行事自体の評価ができるため。					
		評価の理由、分析										
		数値的には高い予約率であり、対象のニーズに合っていると判断する。										
Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	今後の方向性		今後の方向性の理由								
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		対象にとって必要な事業であるため。							
			改善ポイント									
			（成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）									
		見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容						見直し可能年度	
		1	保護者同士の交流促進	☐ 拡充 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	市長指示事項であるため。行事に交流促進のための時間を設定する。						R 7	
		2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止								
		3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止								
		R8年度の費用（R7年度比）		（単位：千円）		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度		
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		事業費		予算	決算	予算	決算	予算	
理由					8,408	8,400	10,513	11,329	11,021			
事業費用のうち人件費が約9割を占めている事業であり、現時点ではこれ以上の費用削減は難しい。			特定財源	合計額	5,644	5,600	7,000	7,786	7,424			
				（内 国費）	2,822	2,800	3,350	3,743	3,712			
				（内 県費）	2,822	2,800	3,350	3,743	3,712			
		（内 諸収入）										
積算額		一般財源		2,764	2,800	3,513	3,543	3,597				
R7年度予算の内訳 ＜細々節名、予算額、（R6年度予算額）＞												
会計年度任用職員報酬 7,210千円（6,514千円） 会計年度任用職員期末手当 1,503千円（1,330千円） 会計年度任用職員勤勉手当 1,263千円（1,113千円） 育児講座講師謝礼 105千円（100千円） 普通旅費 4千円（4千円） 特別旅費 9千円（9千円） 費用弁償 11千円（11千円） 会計年度任用職員通勤費 72千円（72千円） 食糧費 2千円（2千円） 印刷製本費 124千円（124千円） 飼料費 2千円（2千円） 損害保険料 100千円（100千円） 清掃委託 100千円（100千円） 道路通行料 3千円（3千円） 子育て支援センター連絡協議会負担金 5千円（5千円） 消耗品費 458千円（558千円） 子育て支援センター用備品 50千円（466千円）												

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	37	事業名	未就園児地域交流事業 (中事業名) 保育園事務事業		担当課		子ども未来課					
					予算区分（款-項-目-中事業）		3-2-4-3 保育園事務事業					
					決算書ページ		126 ~ 127 一般					
I 基本情報	総合計画	基本目標	2	子どもが元気に育つまち								
		政策	2	子どもを通じて育て合い育ち合うまちづくり								
		施策	(1)	地域の子育てネットワークづくりの推進								
	その他	開始年度	平成15年度									
		終了予定年度	年度	☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		市民とのみ協働可				
		根拠法令等	児童福祉法、子ども・子育て支援法									
		関連計画	第6次長久手市総合計画、第2期長久手市子ども・子育て支援事業計画									
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		アウトプット（詳細はⅡへ）		③中間成果 (①【対象】がどのような状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 4,100 【事業内容】 就学前の幼児と保護者を対象に、遊びの指導や園児との交流、子育て相談、保護者及び子ども同士の交流の機会を提供します。		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。また、それがどうなるのか) 【アクションプラン指標】 利用組数【単年】 【その他の指標】		就園前の幼児と保護者を対象に、遊びの指導や園児との交流、子育て相談、保護者及び子ども同士の交流の機会を提供することで、身近な地域における子育て支援サービスの充実につながる。 (成果指標名) 参加者の事業に対する満足度		大 事 業 共 通		就園前の幼児と保護者を対象に、遊びの指導や園児との交流、子育て相談、保護者及び子ども同士の交流の機会を提供することで、子育てしやすいまちになる。		
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
		1	【アクションプラン指標】 利用組数【単年】	組	基準値	339	目標値	340	343	346	349	350
					目標値	350	実績	345				
		2			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		3			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		4			基準値		目標値					
	目標値					実績						
	エピソード	事業開始の背景	子育て支援の一環として、保育園の施設を利用し、たけのこクラブ担当保育士の保育計画の下、たけのこクラブのこどもが保育園児の遊ぶ姿を見たり、他のこどもと関わって遊ぶ経験をしたりして、楽しい時間を保護者と共に過ごすこと、また、参加した保護者同士が交流を図るため。									
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
		R 6	全公営保育所で、年度末及び年度初めを除いて毎月実施			R 7						
		R 8				R 9						

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標								
		参加者の事業に対する満足度	点	年度	▶	年度	▶	【現状】 R6 年度	▶	R8 年度	▶	R11 年度
							0		6		8	
		成果達成状況				指標目標値の根拠						
		C	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている			第3期長久手市子ども・子育て支援事業計画の計画期間（R7~11年度）を踏まえR11年度を目標値として設定。						
	評価の理由、分析											
	今後、参加者にアンケートを行い、満足度に関する調査(10点満点)を実施予定のため											
	加える変化（ACTION）	今後の方向性	今後の方向性の理由									
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		引き続き就学前の幼児と保護者を対象に、遊びの指導や園児との交流、子育て相談、保護者及び子ども同士の交流の機会を提供するため。							
		改善ポイント (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)										
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容							見直し可能年度		
1		満足度の向上	☐ 拡充 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	定期的にカリキュラム等改善を図り満足度の向上を図る。							R7年度	
2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止										
	3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止									
			☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止									
Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3年間の推移	(単位：千円)		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度	
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		理由	事業費	予算	決算	予算	決算	予算	
							380,793	391,855	450,274	511,501	542,315	
							合計額	19,609	15,741	14,059	17,094	9,289
		引き続き就学前の幼児と保護者を対象に、遊びの指導や園児との交流、子育て相談、保護者及び子ども同士の交流の機会を提供するため。	特定財源		(内 国費)	9,919	6,212	3,583	4,776	3,812		
					(内 県費)	3,682	3,196	3,732	5,004	3,992		
					(内 諸収入)	2,542	2,984	1,433	2,110	0		
					(内 その他)	3,466	3,349	5,311	5,204	1,485		
					一般財源	361,184	376,114	436,215	494,407	533,026		
		積算額	未定		R7年度予算の内訳 ＜細々節名、予算額、（R6年度予算額）＞ 会計年度任用職員報酬 395,000千円 (325,000千円) 会計年度任用職員期末手当 72,491千円 (58,613千円) 会計年度任用職員勤続手当 60,893千円 (49,044千円) 会計年度任用職員通勤費 6,367千円 (5,659千円) 保育用備品 680千円 (0千円) 修繕料 3,060千円 (2,500千円) 通信運搬費 183千円 (79千円) 印刷製本費 191千円 (133千円) 保育士研修講師料 290千円 (250千円) 保育士研修負担金 99千円 (79千円) 防火管理者講習会負担金 87千円 (86千円) 普通旅費 5千円 (5千円) コンビニ収納業務取扱手数料 130千円 (130千円) 第三者評価委託 165千円 (165千円) 道路通行料 19千円 (19千円) 自動車借上料 200千円 (200千円) 園児移送料 100千円 (100千円) 県社会福祉協議会負担金 4千円 (4千円) 県指導保育士連絡協議会負担金 5千円 (5千円) 広域保育委託 1,166千円 (1,167千円) 損害保険料 168千円 (172千円) 口座振替手数料 344千円 (370千円) 特別旅費 120千円 (239千円) 新入園児データ入力業務委託 0千円 (231千円) 保育園ICT保守委託 396千円 (792千円) 消耗品費 152千円 (5,232千円)							

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	38	事業名	英語教育充実事業 (中事業名) 教育委員会事務事業		担当課		教育総務課					
					予算区分（款-項-目-中事業）		9-1-1-4 教育委員会事務事業					
					決算書ページ		191 ~ 194		一般			
I 基本情報	総合計画	基本目標	2	子どもが元気に育つまち								
		政策	3	子どもの健やかな成長を支える環境の整備								
		施策	(1)	子どもが主体的に学ぶ機会の創出								
	その他	開始年度	不明									
		終了予定年度	年度	☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性			両者と協働可			
		根拠法令等										
		関連計画	長久手市教育振興基本計画									
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
		【対象】 ☐ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☒ その他 対象の数： 6,549人 【事業内容】 小学校3、4年生から外国語教育を推進するため、外国語に触れる機会を設けます。また、大学や地域人材等を活用し、外国語教育を充実します。		【アクションプラン指標】 英語科・外国語教育の授業を支援する外国語ボランティア数 【その他の指標】 —		より多くの大学と連携し、大学生と楽しく英語を学ぶ。 (成果指標名) 連携大学数		児童生徒全員が楽しく学校に通学できるようになる。				
								大 事 業 共 通				
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
		【アクションプラン指標】		人	基準値	6	目標値	6	6	6	6	6
		1 英語科・外国語教育の授業を支援する外国語ボランティア数（単年）			目標値	6	実績	19				
		2		基準値		目標値						
				目標値		実績						
		3		基準値		目標値						
				目標値		実績						
		4		基準値		目標値						
				目標値		実績						
		エピソード		事業開始の背景 ・長久手市近隣には多くの大学があり、英語を専攻している学生も多いため。そうした大学生の受入れを大学側から依頼があり、始まったもの。								
	各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
	R6	・2つの大学から依頼があり、学生ボランティア19人の受入れを行った。				R7						
	R8					R9						

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標										
		連携大学数	校	R4 年度		R5 年度		【現状】 R6 年度		R9 年度		R12 年度		
				2		2		2		3		4		
		成果達成状況				指標目標値の根拠								
加える変化（ACTION）	A	B. 想定どおり		英語教育ボランティアに関して連携している大学数を3年間で1校増やす。										
		D. 想定を下回っている												
		評価の理由、分析												
		一時期、新型コロナウイルス感染症の影響でボランティアが派遣できない状況が続いたが、再開し、人数は増えている。												
令和8年度予算の方向性（PLAN）	B	今後の方向性		今後の方向性の理由										
		A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		連携先の大学を増やし、より多くの学生に参加してもらう。										
		改善ポイント												
		(成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)												
Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止	理由	必要となるのは職員の人件費のみのため	積算額	未定	3年間の推移	(単位：千円)	R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度
									事業費	予算	決算	予算	決算	予算
										315,589	299,675	430,667	410,351	478,133
										合計額	9,351	8,426	39,490	24,902
(内 国費)	1,015	935	1,336	1,128	1,540									
(内 県費)	8,296	7,400	26,016	23,774	26,498									
(内 諸収入)	0	0	0	0	0									
(内 その他)	40	91	12,138	0	3,030									
一般財源	306,238	291,249	391,177	385,449	447,065									
R7年度予算の内訳 ＜細々節名、予算額、（R6年度予算額）＞														
地域クラブ運営業務委託 53,267千円 (33,626千円) 会計年度任用職員報酬 189,137千円 (175,384千円) 療養費及び療養費見直し補助費 40,905千円 (36,365千円) 会計年度任用職員期末手当 38,610千円 (35,595千円) 会計年度任用職員勤続手当 32,432千円 (29,782千円) 消耗品費 1,950千円 (789千円) 看護師派遣委託 4,781千円 (3,812千円) 口座振替手数料 1,426千円 (717千円) 外国語指導助手派遣業務委託 12,830千円 (12,300千円) 高等学校等入学支援金 7,700千円 (7,200千円) オンラインサービス使用料 1,236千円 (789千円) 特別支援学級児童生徒補助費 3,022千円 (2,614千円) 自動車借上料 10,452千円 (10,026千円) 通信運搬費 645千円 (291千円) 児童生徒日本語教育支援事業委託 1,628千円 (1,320千円) 教職員勤怠管理システム使用料 925千円 (800千円) 校外学習施設使用料 137千円 (55千円) 地域活動開放管理委託 400千円 (321千円) 部活動検討委員会委員報酬金 146千円 (88千円) 普通旅費 161千円 (116千円) 印刷製本費 161千円 (149千円) 産業医療費 1,643千円 (1,640千円) 全国都市教育長協議会定期総会負担金 17千円 (15千円) 除染業務委託 54千円 (53千円) 東海北陸都市教育長会定期総会負担金 9千円 (8千円) 教育委員会委員報酬 1,824千円 (1,824千円) 災害補償費 1千円 (1千円) 教育委員会事務局点検評価委員報酬金 30千円 (30千円) 愛知県尾東音楽コンクール賞品 6千円 (6千円) いじめ問題対策連絡協議会委員報酬金 22千円 (22千円) 教育支援アドバイザー報酬金 0千円 (0千円) 学校巡回弁護士報酬金 660千円 (660千円) 費用弁償 160千円 (160千円) 会計年度任用職員旅費 80千円 (80千円) 教育委員会教育長交際費 120千円 (120千円) 食糧費 14千円 (14千円) 害虫対策手数料 216千円 (216千円) 現職教育協議会委託 1,956千円 (1,956千円) B型肝炎検査委託 55千円 (55千円) 県委託事業等委託 270千円 (270千円) 長久手の教育作成委託 66千円 (66千円) 駐車場使用料 2千円 (2千円) 通称進科料 26千円 (26千円) 校務支援ソフト賃借料 697千円 (697千円) 学校口座振替処理システム使用料 441千円 (441千円) 小中学校緊急修繕工事 6,500千円 (6,500千円) 小中学校校舎等補修工事 900千円 (900千円) 県中小学校体育連盟愛知地区負担金 847千円 (847千円) 市町村教育委員会連合会負担金 18千円 (18千円) 尾張都市教育長協議会負担金 10千円 (10千円) 愛知地区教育研究会負担金 74千円 (74千円) 児童生徒引率派遣負担金 737千円 (737千円) 東海北陸都市教育長協議会負担金 10千円 (10千円) 全国都市教育長協議会負担金 21千円 (21千円) 県都市教育長協議会負担金 2千円 (2千円) 愛知地区学校保健会負担金 191千円 (192千円) 4市町SW意見交換会講師報酬金 0千円 (5千円) 感謝状等華装委託 0千円 (5千円) 愛知地区スクールソーシャルワーカー研修会負担金 0千円 (5千円) 授業目的公衆送信権報酬金 991千円 (997千円) 就学健診用医療機器レンタル料 134千円 (144千円) 小中学校環境衛生検査手数料 1,214千円 (1,226千円) スクールソーシャルワーカー基礎研修負担金 0千円 (15千円) 心の教室相談員報酬金 3,123千円 (3,141千円) 尾張東部教育用図書採択協議会分担金 0千円 (18千円) 愛日地方教育事務協議会負担金 235千円 (255千円) 検便手数料 100千円 (130千円) いじめ問題専門委員会委員報酬 283千円 (319千円) 就学時健診医師等報酬金 1,069千円 (1,113千円) 教育委員会管理用備品 0千円 (50千円) 日本スポーツ協会の負担金 6,083千円 (6,140千円) 就学時健診委託 218千円 (280千円) 特別旅費 131千円 (207千円) 会計年度任用職員通勤費 3,420千円 (3,501千円) ジェリバー入場料 0千円 (120千円) 教職員健診委託 7,056千円 (7,214千円) ICT活用支援事業委託 5,742千円 (8,316千円) 瀬戸特別支援学校負担金 9,681千円 (14,813千円) 中学校部活動等負担金 300千円 (9,427千円)														

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	39	事業名	文化芸術アウトリーチ事業 (中事業名) 文化芸術アウトリーチ事業		担当課		生涯学習課					
					予算区分（款-項-目-中事業）		9-4-5-4 文化芸術アウトリーチ事業					
					決算書ページ		233 ～ 233 一般					
I 基本情報	総合計画	基本目標	2	子どもが元気に育つまち	5	いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪						
		政策	3	子どもの健やかな成長を支える環境の整備	1	まちの資源を生かした市民同士の交流の促進						
		施策	(1)	子どもが主体的に学ぶ機会の創出	(2)	文化芸術による交流						
	その他	開始年度	2005									
		終了予定年度	年度	☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可				
		根拠法令等	文化芸術基本法、劇場・音楽堂等の活性化に関する法律									
		関連計画	ながくて未来図（長久手市第6次総合計画）（H31. 3） 第3次長久手市文化芸術マスタープラン（H30. 3）									
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 6500 【事業内容】 市内の教育機関、児童館等に赴いて、文化芸術による活動（演奏、体験、教室等）を行います。特に、子どもの自発性を育むため、体験型の芸術活動を充実します。		【アクションプラン指標】 体験型の活動数 【その他の指標】 市民参加の延べ人数		市民に多様な芸術体験の機会を提供する場が増加する。 (成果指標名) すべての事業での新聞等の掲載回数		大事業共通 市民が芸術体験を通して、豊かな心を育み、未来を生きる楽しみと希望を見いだしていく。また芸術活動を通じた市民活動に参加することで、人と人の絆を深め、誰もが孤立しない社会が形成されていく。				
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
		1	【アクションプラン指標】 体験型の活動数	回	基準値	15	目標値	15	15	15	15	15
					目標値	15	実績	16				
		2	【その他の指標】 市民参加の延べ人数	人	基準値	-	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
					目標値	-	実績	1,770				
		3			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		4			基準値		目標値					
					目標値		実績					
	エピソード	事業開始の背景 2005年の愛知万博を契機に、小学校へのアウトリーチ事業を開始した、当初は小学校のみであったが、次第に学校側より要望があり、中学校でも実施することになった。現在は長久手市内小中学校すべてで実施しており、小学4年生と、中学校1年生がならず体験している。										
各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由												
R6	小学校6校、中学校3校で芸術アウトリーチ「であーと」を行った。市内の小学校4年生、中学校1年生の全てのクラスで実施した。これまで音楽を中心としたアウトリーチを展開してきたが、今年度は初めてのコンテンツポラリーダンスでの実施に挑戦し、大成功となった。契約アーティスト創造スタッフの力を借りたことに、入念な準備の結果が生んだものだと思う。多様な芸術を提供する機会が増加した。				R7							
R8					R9							

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）				成果指標の推移と目標					
		すべての事業での新聞等の掲載回数		回	R4 年度 52回	R5 年度 35回	【現状】 R7 年度 38回	R8 年度 58回	R9 年度 60回		
		成果達成状況					指標目標値の根拠				
		A	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている					挑戦的な事業や、現代社会との密接な関係性を考慮した事業は、掲載される可能性が高く、事業が毎年同じで形骸化することを防いでいる。指標目標があることにより、新しい切り口や、新たな取り組みを生み出すきっかけになっている。			
		評価の理由、分析									
		今回、音楽以外に初のコンテンポラリーダンスによる「であーと」を実施した点は大きく、新聞社も非常に丁寧に、大きな記事として取り上げていただくことができた。成果指標である掲載回数にも影響し、なによりも挑戦的な姿勢で、多様な芸術との出会いを子どもたちに提供することができた。									
		今後の方向性		今後の方向性の理由							
		A	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		回数を増加させるというよりも、これから多様な芸術でのアウトリーチに挑戦するために拡充を選択している。						
		改善ポイント (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)									
		見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容					見直し可能年度	
1	【改善】 助成金の確保による事業費の一部充当	☒ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	文化庁補助金、財団法人地域創造や、瀬戸信用金庫助成金を今後も獲得していく。昨年と同様の企画であったり、類似の事業やパッケージ事業を申請しても採択を得られないため、多様なジャンルの毎年異なる挑戦的な公演を、企画、制作し実施することで、継続的に助成金を獲得していく。					R8			
2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止									
3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止									
Ⅳ 費用	加える変化（ACTION）	R8年度の費用（R7年度比）		(単位：千円)		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度	
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止	理由	事業費		予算	決算	予算	決算	予算
							760	675	760	670	900
		R7は工事休館によりホール事業が実施不可のため、劇場の外での実施が多い本事業を強化し予算を増額した。R8以降はR6と同額規模にて継続する。前年度R7との比較という意味では、R8は予算的には縮小と見えるが、R6比較では同額となるため、現状維持とする。		特定財源	合計額			498	0		
		(内 国費)									
		(内 県費)									
		(内 諸収入)									
		(内 その他)			498	0					
		積算額		一般財源		760	675	262	670	900	
		R6同額		R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞ 事業・公演等委託 800千円（680千円） 講座・講演等報償金 100千円（80千円）							
令和8年度予算の方向性（PLAN）		3年間の推移									

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	40	事業名	平成こども塾体験学習事業		担当課		みどりの推進課					
			（中事業名） 平成こども塾体験学習事業		予算区分（款-項-目-中事業）		9-4-1-4 平成こども塾体験学習事業					
					決算書ページ		225		～		一般	
I 基本情報	総合計画	基本目標	2	子どもが元気に育つまち	3	みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物						
		政策	3	子どもの健やかな成長を支える環境の整備	1	万博理念を継承した自然との共生						
		施策	(1)	子どもが主体的に学ぶ機会の創出	(2)	自然に愛着を持つ地域づくりの推進						
	その他	開始年度	令和元年度									
		終了予定年度	年度	☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可				
		根拠法令等	平成こども塾条例									
		関連計画	平成こども塾マスタープラン、里山プラン、里山基本計画									
	事業の概要・目的	①事業概要 （どんな取組を行うのか）		②活動指標 （取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか）		③中間成果 （①【対象】がどのような 状態に変わるのか）		④最終成果 （大事業の将来像）				
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 通常20名 【事業内容】 自然とのふれあい、体験を通じた環境教育、地域や人との交流、食体験等の機会を通じて学び、生きる力を育み満足度を計ります。		【アクションプラン指標】 （2024年度まで） 平成こども塾による体験学習事業の実施回数【単年】 （2025年度から） プログラムアンケートで参加者のプログラム満足度が4段階評価の「とても良かった」が8割を超えたプログラム数の割合 【その他の指標】		平成こども塾のプログラムに参加したい人が増える。 （成果指標名） 参加者の満足度		健全な児童・生徒を育み、身の回りの環境を意識して人と自然の共生に配慮できる人が増える。 大事業共通				
	II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度	R9(2027)年度	R10(2028)年度
1			【アクションプラン指標】 （2024年度まで） 平成こども塾による体験学習事業の実施回数【単年】	回	基準値 195 目標値 204	目標値 実績	204 200					
2			【アクションプラン指標】 （2025年度から） プログラムアンケートで参加者のプログラム満足度が4段階評価の「とても良かった」が8割を超えたプログラム数の割合	%	基準値 - 目標値 80以上	目標値 実績	- -	80以上	80以上	80以上	80以上	
3					基準値 目標値	目標値 実績						
4					基準値 目標値	目標値 実績						
事業開始の背景 平成18年4月に長久手町（現市）平成こども塾が開館し、近隣の里山（竹林等）の整備を市民と共に進めながら、小学校や市民ボランティア（平成こども塾サポート隊）と連携、他市町村や環境団体、近隣の大学他と連携、プロの環境教育団体等への委託を行い「体験」をキーワードに体験型プログラムを実施してきた。												
各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由												
R6			平成こども塾サポート隊事業及び学校連携事業において、講師の高齢化が課題となっているが、令和6年度は、平成こども塾サポート隊に高校生をはじめ6人加入した（目標人数は3人）。今後も、「定着」してもらえよう我々スタッフからの挨拶の励行、話しを伺う等のコミュニケーションを日々取るよう心がける。	R7								
R8				R9								

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標							
		参加者の満足度		%	4 年度	5 年度	【現状】	6 年度	7 年度	8 年度		
					80	79		79	80	85		
		成果達成状況				指標目標値の根拠						
		B	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている				体験型環境教育事業を行う施設である平成こども塾は、その成果を図るには参加者の満足度をもって指標とすることが適切と判断するため。 注）上記のR3年度の数値に関しては、満足度4段階中上位2つを集計した数値だが、かなり高い満足度となったため、令和4年度からは新指標として満足度4段階中上位1つ（とても良かった）を集計した数値へ変更した。					
		評価の理由、分析										
		コロナ禍により回数や参加人数の増加を追う時代ではなくなり、より安全に、より満足度の高いものを志向する時代になったと考えるが、プログラム実施回数は、200回実施した。計画通り推移している。										
		今後の方向性		今後の方向性の理由								
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		市民ボランティア（平成こども塾サポート隊）による委託プログラムが高齢化により継続が困難になることが見込まれるため、委託先を民間の専門事業者へ変更し、その補助をサポート隊が行う形態を模索する。それにより参加者の満足度も高まると考える。							
		改善ポイント （成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）										
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容						見直し可能年度			
1	委託プログラム	☒ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	講師を民間専門事業者に委託していく数を増やす。						令和10年度			
2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止										
3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止										
Ⅳ 費用	加える変化（ACTION）	R8年度の費用（R7年度比）		（単位：千円）		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度		
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		事業費		予算	決算	予算	決算	予算	
		理由		合計額		5,320	4,975	5,320	5,080	5,320		
		プログラム内容は変わるが、体験学習事業の枠組みは現状維持とする。ただし、プログラムの一部をサポート隊から専門業者へ委託化した場合、予算が発生する可能性がある。		特定財源	(内 国費)							
				(内 県費)								
				(内 諸収入)	148	154	179	181	213			
				(内 その他)	7	5	7	7	5			
		積算額		一般財源		5,165	4,816	5,134	4,885	5,102		
		R7年度予算の内訳 ＜細々節名、予算額、（R6年度予算額）＞ 平成こども塾創造スタッフ委託 2,090千円（1,976千円） 平成こども塾講師報償金 3,230千円（3,344千円）										
		令和8年度予算の方向性（PLAN）		3年間の推移								

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度						
事業番号	41	事業名	子ども読書活動推進事業 (中事業名) 中央図書館運営事業		担当課		中央図書館						
					予算区分（款-項-目-中事業）		9-4-4-1 中央図書館運営事業						
					決算書ページ		227 ~ 228 一般						
I 基本情報	総合計画	基本目標	2	子どもが元気に育つまち									
		政策	3	子どもの健やかな成長を支える環境の整備									
		施策	(1)	子どもが主体的に学ぶ機会の創出									
	その他	開始年度	平成24年度										
		終了予定年度	年度	☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可					
		根拠法令等	図書館法、子どもの読書活動の推進に関する法律										
	関連計画	第3次長久手市子ども読書活動推進計画、長久手市教育振興基本計画											
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		アウトプット（詳細はⅡへ）		アウトカム（詳細はⅢへ）							
				②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)					
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☒ その他 対象の数： 81,890人（うち人口61,381人） 【事業内容】 幼いときから子どもの側に本がある環境をつくり、自然と本に親しみ、読書の楽しさを知り、家で読書を楽しむ子どもが増えることを目的とし、読書環境の整備、読書のきっかけづくりや、読書の習慣化を図ります。		【アクションプラン指標】 中央図書館での小学生までの貸出冊数【単年】の増加 【その他の指標】		市民の貸出点数や読書機会が増える。 (成果指標名) 長久手市の人口一人あたりの市民貸出冊数		大事業共通 乳幼児から高齢者まで全ての市民が集う社会教育施設として読書環境が整い、図書館が生涯を通じて読書に親しむ場となる。					
Ⅱ 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ		区分	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度	R9(2027)年度	R10(2028)年度	
		1	【アクションプラン指標】 中央図書館での小学生までの貸出冊数【単年】	冊	基準値	143,756	目標値	146,000	147,500	147,500	147,500	147,500	
					目標値	147,500	実績	131,808					
		2			基準値		目標値						
					目標値		実績						
		3			基準値		目標値						
					目標値		実績						
		4			基準値		目標値						
	目標値					実績							
	エピソード	事業開始の背景 子どもの読書活動の推進に関する法律に基づき、平成24年度に第1次長久手市子ども読書活動推進計画を策定し、子ども読書活動推進に係る事業を実施している。令和5年度より第3次計画に基づき、家族で読書を楽しむ子どもが増えることを目的として事業に取り組んでいる。											
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
		R6	・令和6年4月より貸出冊数を5→10冊に拡大し、貸出冊数の増加を見込んでいたが、貸出期間を2→3週間に延ばしたことにより、貸出の回転率が緩やかになり、目標を達成できなかった。 ・令和6年4月より長久手市保健センターの3～4か月児健康診査でブックスタート事業のブックスタートバック配布開始により、該当者の9割以上に配布できた。				R7						
		R8					R9						

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標								
		長久手市の人口一人あたりの市民貸出冊数		冊	R2 年度		R4 年度		【現状】 R6 年度		R8 年度		R10 年度
					4.2		5.4		5.2		5.3		5.3
		成果達成状況					指標目標値の根拠						
		C	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている					コロナ禍を経て、貸出冊数は回復しているが、令和6年4月より貸出冊数及び貸出期間を変更したことにより、貸出の回転率が緩やかになっている。R7年度以降も同様の傾向が続くと考え、R6年度実績の1%増加を目標設定した。					
評価の理由、分析													
市民アンケートによる要望の結果、冊数と期間を変更し、令和6年4月より貸出冊数を5→10冊に拡大したことによる貸出冊数の増加を見込んでいたが、同時に貸出期間を2→3週間に変更したことにより、貸出の回転率が緩やかになり、減少に転じている。今後、委託職員と協力して増加を目指す。													
加える変化（ACTION）	今後の方向性		今後の方向性の理由										
	B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		令和6年度より窓口等業務委託を実施しており、民間のアイデアを取り入れた子ども向けの事業の実施を進める。そのほか、本に触れる機会を増やすため、市職員が主体的に連携事業（アウトリーチ事業）を継続する。									
	改善ポイント （成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）												
	見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度	
	1	子ども向けイベントの実施	☐ 拡充 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	民間アイデアを取り入れた子ども向けイベントの実施や、学校・児童館・保育園などへの本の貸出の他、協働体制で実施できるものを検討していく。									
2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止											
3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止											
Ⅳ 費用	R8年度の費用（R7年度比）												
	B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止											
	理由												
	子ども読書活動推進計画にかかる館内及び連携事業をはじめ、図書購入、窓口等業務委託、及び図書館システム運用を継続して実施するため。												
	積算額												
	未定												
令和8年度予算の方向性（PLAN）		3年間の推移	(単位：千円)		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度				
			事業費	予算	決算	予算	決算	予算					
				76,646	69,456	106,250	108,901	110,313					
			特定財源	合計額	104	121	114	163	121				
				(内 国費)									
				(内 県費)									
				(内 諸収入)	104	121	114	163	121				
				(内 その他)									
			一般財源	76,542	69,335	106,136	108,738	110,192					
			R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞										
会計年度任用職員報酬 15,752千円 (13,935千円) コンピュータ運用業務委託 6,288千円 (5,506千円) コンピュータ賃借料 3,272千円 (2,513千円) 会計年度任用職員期末手当 3,292千円 (2,783千円) 会計年度任用職員通勤手当 2,765千円 (2,329千円) 光熱水費 12,040千円 (11,757千円) 印刷製本費 400千円 (380千円) 自動車点検手数料 11千円 (0千円) 放送受信料 43千円 (42千円) 図書館運営協議会委員報酬 73千円 (73千円) 普通旅費 10千円 (10千円) 特別旅費 20千円 (20千円) 会計年度任用職員旅費 12千円 (12千円) 消耗品費 2,449千円 (2,449千円) 燃料費 31千円 (31千円) 修繕料 60千円 (60千円) 道路通行料 5千円 (5千円) 自動車借上料 129千円 (129千円) 図書情報使用料 1,540千円 (1,540千円) 図書資料 17,000千円 (17,000千円) 日本図書館協会負担金 37千円 (37千円) 県図書館協会負担金 9千円 (9千円) 県公立図書館協議会負担金 5千円 (5千円) 尾張部公共図書館連絡協議会研修会負担金 2千円 (2千円) 図書館職員講習会負担金 10千円 (10千円) 洗車手数料 4千円 (7千円) 食糧費 7千円 (14千円) 図書情報作成委託 45千円 (54千円) 車量税 0千円 (9千円) 通信運搬費 360千円 (372千円) 自動車損害保険料 14千円 (32千円) 車検手数料 0千円 (33千円) 図書消毒機保守委託 42千円 (83千円) 図書資料整備委託 50千円 (92千円) 施設管理用備品 0千円 (58千円) 会計年度任用職員通勤費 250千円 (359千円) 窓口等業務委託 44,286千円 (44,500千円)													

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	42	事業名	読み聞かせボランティア活動推進事業 (中事業名) 中央図書館運営事業		担当課		中央図書館					
					予算区分（款-項-目-中事業）		9-4-4-1 中央図書館運営事業					
					決算書ページ		227 ~ 228 一般					
I 基本情報	総合計画	基本目標	2	子どもが元気に育つまち								
		政策	3	子どもの健やかな成長を支える環境の整備								
		施策	(1)	子どもが主体的に学ぶ機会の創出								
	その他	開始年度	平成4年度									
		終了予定年度	年度	☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可				
		根拠法令等	図書館法、子どもの読書活動の推進に関する法律									
		関連計画	第3次長久手市子ども読書活動推進計画、長久手市教育振興基本計画									
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☒ その他 対象の数：81,890人（うち人口61,381人）		【アクションプラン指標】 子ども向けおはなし会の開催回数（年間）の増加 【その他の指標】 図書ボランティア人数の増加		図書ボランティアとの協働によりおはなし会を継続し、市民の本に触れる機会とボランティアとの交流が増える。 (成果指標名) 図書館内で実施する子ども向けおはなし会の年間参加人数		大 事 業 共 通 乳幼児から高齢者まで全ての市民が集う社会教育施設として読書環境が整い、図書館が生涯を通じて読書に親しむ場となる。				
		【事業内容】 小学生から高齢世代までの登録ボランティアによる子ども向けのおはなし会を行い、多世代のボランティアと参加者が交流する場を作ります。										
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度	R9(2027)年度	R10(2028)年度	
		1	【アクションプラン指標】 子ども向けおはなし会の開催回数（年間）	回	基準値	82	目標値	90	90	90	90	90
					目標値	90	実績	93				
		2	【その他指標】 図書ボランティアの人数	人	基準値	—	目標値	—	100	100	105	105
					目標値	—	実績	—				
		3			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		4			基準値		目標値					
	目標値					実績						
	エピソード	事業開始の背景		図書館法及び子ども読書活動推進計画に基づき、市民が図書館に来館し本に触れる機会を増やすため、図書ボランティアの協力のもと、子ども向けおはなし会を実施している。								
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
		R6	・毎月、年齢別のおはなし会を定期的に実施している。日本語だけでなく英語のおはなし会も実施している。 ・令和6年10月より、保健センターでブックスタートパックを配布する際に読み聞かせを実施している。				R7					
								R8				
						R9						

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標											
		図書館内で実施する子ども向けおはなし会の年間参加人数		人	R1 年度		R4 年度		【現状】 R6 年度		R8 年度		R10 年度			
					2,490		1,721		1,717		1,800		1,800			
		成果達成状況					指標目標値の根拠									
		B	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている					活動指標のおはなし会の年間開催回数の目標値90回に対し、1回あたり20人程度の参加者を見込み、90×20＝1,800人を目標値とした。								
			評価の理由、分析													
			コロナ禍以降、おはなし会をすべて取りやめた期間があったため、R1年度と比べて減少しているが、1回あたりのおはなし会参加者は10～30人程であり、適度な人数で実施できている。													
		今後の方向性		今後の方向性の理由												
		加える変化（ACTION）	B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		実施しているおはなし会を継続していく。そのために必要なボランティア養成講座などを開催し支援を行う。										
				改善ポイント (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)												
見直しの余地のある取組名				見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度			
1	図書館外での読み聞かせ			☐ 拡充 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	連携事業（アウトリーチ事業）の一つとして、図書館内だけでなく、他施設等での読み聞かせを検討する。											
2				☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止												
3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止														
Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3年間の推移	(単位：千円)		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度					
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		事業費		予算	決算	予算	決算	予算					
					76,646		69,456	106,250	108,901	110,313						
			理由		合計額		104	121	114	163	121					
		子ども読書活動推進計画にかかる館内及び連携事業をはじめ、図書購入、窓口等業務委託、及び図書館システム運用を継続して実施するため。			特定財源											
					(内 国費)											
					(内 県費)											
					(内 諸収入)		104	121	114	163	121					
					(内 その他)											
		積算額			一般財源		76,542	69,335	106,136	108,738	110,192					
未定		R7年度予算の内訳 ＜細々節名、予算額、（R6年度予算額）＞ 会計年度任用職員報酬 15,752千円 (13,935千円) コンピュータ運用業務委託 6,288千円 (5,506千円) コンピュータ賃借料 3,272千円 (2,513千円) 会計年度任用職員期末手当 3,292千円 (2,783千円) 会計年度任用職員勤続手当 2,765千円 (2,329千円) 光熱水費 12,040千円 (11,757千円) 印刷製本費 400千円 (380千円) 自動車点検手数料 11千円 (0千円) 放送受信料 43千円 (42千円) 図書館運営協議会委員報酬 73千円 (73千円) 普通旅費 10千円 (10千円) 特別旅費 20千円 (20千円) 会計年度任用職員旅費 12千円 (12千円) 消耗品費 2,449千円 (2,449千円) 燃料費 31千円 (31千円) 修繕料 60千円 (60千円) 道路通行料 5千円 (5千円) 自動車借上料 129千円 (129千円) 図書情報使用料 1,540千円 (1,540千円) 図書資料 17,000千円 (17,000千円) 日本図書館協会負担金 37千円 (37千円) 県図書館協会負担金 9千円 (9千円) 県公立図書館協議会負担金 5千円 (5千円) 尾張部公共図書館連絡協議会研修会負担金 2千円 (2千円) 図書館職員講習会負担金 10千円 (10千円) 洗車手数料 4千円 (7千円) 食糧費 7千円 (14千円) 図書情報作成委託 45千円 (54千円) 車量税 0千円 (9千円) 通信運搬費 360千円 (372千円) 自動車損害保険料 14千円 (32千円) 車検手数料 0千円 (33千円) 図書消毒機保守委託 42千円 (83千円) 図書資料装備委託 50千円 (92千円) 施設管理用備品 0千円 (58千円) 会計年度任用職員通勤費 250千円 (359千円) 窓口等業務委託 44,286千円 (44,500千円)														

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	43	事業名	保育園給食巡回指導事業 (中事業名) 給食センター事務事業		担当課		給食センター					
					予算区分（款-項-目-中事業）		- 給食センター事務事業					
					決算書ページ		- ~ - 一般					
I 基本情報	総合計画	基本目標	2	子どもが元気に育つまち								
		政策	3	子どもの健やかな成長を支える環境の整備								
		施策	(1)	子どもが主体的に学ぶ機会の創出								
	その他	開始年度	令和5年度									
		終了予定年度	令和10年度	☐	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働不可				
		根拠法令等										
		関連計画										
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		アウトプット（詳細はⅡへ）		アウトカム（詳細はⅢへ）						
				②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
		【対象】 ☐ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☒ その他 対象の数： 78クラス 【事業内容】 給食時間に管理栄養士が各園を訪問して、給食の状況把握や専門的立場からの助言指導を行うなど、各年齢や状況に適した食育を実施する。		【アクションプラン指標】 指導を行ったクラス数 【その他の指標】 —		園児が箸の持ち方を学んだり、給食に感謝を持って喫食することができるようになる。 (成果指標名) 指導を行ったクラス数		大 事 業 共 通 食材が大勢の人の手を経て食事になり、それを友達や先生といただくという体験をする。				
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
		1	【アクションプラン指標】 指導を行ったクラス数	クラス	基準値	93	目標値	93	78	78	78	78
					目標値	78	実績	91				
		2			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		3			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		4			基準値		目標値					
	目標値					実績						
	エピソード	事業開始の背景	市立保育園の園児の栄養改善及び健康の保持増進並びに保育士との連携を行うため、管理栄養士による巡回指導を行った。									
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
		R6	市立保育園の3歳以上の園児に対し、給食センターの調理についてや、スプーン・はしの持ち方等を給食センター所属の管理栄養士が直接指導を行った。 また、園児だけでなく、保育士に対しても同様の指導を行うことで連携が取れ、その後の園児に対する指導も保育士自らが行った。 また、目標が達成できなかった理由としては、訪問日時の調整が保育園と困難だったためである。			R7						
		R8				R9						

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標										
		指導を行ったクラス数	クラス	R4 年度		R5 年度		【現状】 R6 年度		R7 年度		R8 年度		
				75		93		93		78		78		
		成果達成状況				指標目標値の根拠								
		B	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている				R5年度及びR6年度は、前年度の実績に基づき目標値を設定していたが、R7年度からは東保育園のクラス数の減少に伴い、目標値の算出方法を改め3歳以上の園児のクラス数×3回を目標値とした。							
	評価の理由、分析													
	令和6年度は、対象クラス93クラスのうち、91クラスを巡回指導することができたためである。													
	加える変化（ACTION）	今後の方向性	今後の方向性の理由											
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		1クラスにつき年3回の指導でよいと保育園と調整を行ったため。（令和7年度は全26クラスのため）									
		改善ポイント （成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）												
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度			
1		年長クラスへの巡回指導の改善	☐ 拡充 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	食事マナーに関する指導を追加で行うことを検討する。										
Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3年間の推移	（単位：千円）		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度			
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		事業費		予算	決算	予算	決算	予算			
			理由		特定財源	合計額	0	0	0	0	0			
						（内 国費）	0	0	0	0	0			
						（内 県費）	0	0	0	0	0			
		（内 諸収入）	0	0		0	0	0						
		（内 その他）	0	0	0	0	0							
		一般財源	0	0	0	0	0							
積算額		R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞												

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度						
事業番号	44	事業名	地域型保育事業支援事業 (中事業名) 地域型保育事業支援事業		担当課		子ども未来課						
					予算区分（款-項-目-中事業）		3-2-4-4 地域型保育事業支援事業						
					決算書ページ		127 ~ 127 一般						
I 基本情報	総合計画	基本目標	2	子どもが元気に育つまち									
		政策	3	子どもの健やかな成長を支える環境の整備									
		施策	(2)	安心して子どもが過ごせる場の整備									
	その他	開始年度	平成27年度										
		終了予定年度	年度	☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		民間事業者とのみ協働可					
		根拠法令等	児童福祉法、子ども・子育て支援法										
		関連計画	第6次長久手市総合計画、第2期長久手市子ども・子育て支援事業計画										
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		アウトプット（詳細はⅡへ）		アウトカム（詳細はⅢへ）							
		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)							
	【対象】 ☐ 市民 ☒ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 8 【事業内容】 連携保育所等の協力により、 小規模保育事業等の地域型保 育事業所に対して、保育の運 営・実施に対する支援を行 います。		【アクションプラン指標】 地域型保育事業所数【単年】 【その他の指標】 連携保育所等による地域型保 育事業所への訪問指導等回数		連携保育所等と地域型保育事 業所の連携が密に図られ、充 実した保育が行われる。 (成果指標名) 地域型保育事業所1か所あたり の監査における平均指摘点数		大 事 業 共 通 地域型保育事業所の資質向上 を図ることで、子育てしやす いまちになる。						
Ⅱ 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ		区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
		1	【アクションプラン指標】 地域型保育事業所数【単年】	事業所	基準値	8	目標値	8	8	8	8	8	
					目標値	8	実績	8					
		2	【その他の指標】 連携保育所等による地域型保育事業所への訪 問指導等回数	回	基準値	-	目標値	29	29	29	29	30	
					目標値	-	実績	26					
		3			基準値		目標値						
					目標値		実績						
		4			基準値		目標値						
	目標値					実績							
	エピソード	事業開始 の背景		待機児童の解消等を目的として、平成27年度より全国で開始された制度									
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
		R 6	連携保育所等による地域型保育事業所への訪問助言支援等を26回実施 R6年度に認可保育所が2園新設したことに伴い、新設園の園児の様子確認等を重点的に実施したため、目標値よりも実績が少なくなっている。			R 7							
R 8					R 9								

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標										
		地域型保育事業所1か所あたりの監査における平均指摘点数	点	R4 年度		R5 年度		【現状】 R6 年度		R8 年度		R11 年度		
				3		4		2		2		1		
		成果達成状況				指標目標値の根拠								
		C	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている				第3期長久手市子ども・子育て支援事業計画の計画期間（R7～11年度）を踏まえR11年度を目標値として設定。							
		評価の理由、分析												
		R5年度は対前年比で増加するも、R6年度は減少しているため												
		今後の方向性		今後の方向性の理由										
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		引き続き、連携保育所等の協力により、小規模保育事業等の地域型保育事業所に対して、保育の運営・実施に対する支援を行うため。									
		改善ポイント （成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）												
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度			
1	訪問指導等実施回数の頻度	☐ 拡充 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	訪問指導等の回数を増やすことで、地域型保育事業所の資質の向上を図る。								R7年度			
2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止												
3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止												
Ⅳ 費用	加える変化（ACTION）	R8年度の費用（R7年度比）		（単位：千円）		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度				
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止	事業費		予算	決算	予算	決算	予算				
				9,575		8,324		9,575		8,532		9,575		
		理由		特定財源	合計額	0	0	0	0	0				
		引き続き、連携保育所等の協力により、小規模保育事業等の地域型保育事業所に対して、保育の運営・実施に対する支援を行う。			（内 国費）	0	0	0	0	0				
					（内 県費）	0	0	0	0	0				
					（内 諸収入）	0	0	0	0	0				
					（内 その他）	0	0	0	0	0				
		積算額		一般財源	9,575	8,324	9,575	8,532	9,575					
		未定		R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞ 家庭保育室運営費補助金 1,396千円（1,396千円） 小規模保育事業運営費補助金 8,179千円（8,179千円）										
令和8年度予算の方向性（PLAN）		3年間の推移												

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度						
事業番号	45	事業名	市が洞保育園施設改修事業		担当課		子ども政策課						
			(中事業名) 市ヶ洞保育園施設改修事業		予算区分（款-項-目-中事業）		3-2-4-11 市ヶ洞保育園施設改修事業						
					決算書ページ		126		～ 126		一般		
I 基本情報	総合計画	基本目標	2	子どもが元気に育つまち									
		政策	3	子どもの健やかな成長を支える環境の整備									
		施策	(2)	安心して子どもが過ごせる場の整備									
	その他	開始年度	令和6年度										
		終了予定年度	令和6年度	☐	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性			両者と協働不可				
		根拠法令等	児童福祉法										
		関連計画	長久手市保育施設整備計画										
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		アウトプット（詳細はⅡへ）		アウトカム（詳細はⅢへ）							
				②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)					
		【対象】 ☐ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☒ その他 対象の数： 1園 【事業内容】 現在指定管理で運営している市が洞保育園・児童館について、保育園については、「公私連携型保育所」として民営化し、児童館については民間委託とするため、改修工事を行う。		【アクションプラン指標】 整備箇所数 【その他の指標】		— (成果指標名) —		大 事 業 共 通 市が洞保育園・児童館について、保育園については、「公私連携型保育所」として民営化し、児童館については民間委託に移行した。					
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2024年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度		
		1	【アクションプラン指標】 整備箇所数	園	基準値	—	目標値	1	—	—	—	—	
					目標値	1	実績	1					
		2			基準値		目標値						
					目標値		実績						
		3			基準値		目標値						
					目標値		実績						
		4			基準値		目標値						
					目標値		実績						
		事業開始の背景 現在指定管理で運営している市が洞保育園・児童館について、保育園については、「公私連携型保育所」として民営化し、児童館については民間委託とするため、改修工事を行う。											
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
		エピソード	R 6	老朽化した木製外壁及び木製デッキを人工木へ改修、室外機の取り換え等を行い、予定していた工事は期日までに完了した。			R 7						
R 8				R 9									

Ⅲ 事業の成果・課題分析 (アウトカムの詳細)	成果指標 (CHECK)	成果指標名(中間成果をはかるもの)		単位	成果指標の推移と目標											
		—		%	R4 年度		R5 年度		【現状】 R6 年度		R7 年度		R8 年度			
		成果達成状況					指標目標値の根拠									
		—	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている													
		評価の理由、分析														
		今後の方向性		今後の方向性の理由												
		—	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止													
		改善ポイント (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)														
		見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容									見直し可能年度		
1		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止														
2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止														
3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止														
Ⅳ 費用	加える変化 (ACTION)	R8年度の費用(R7年度比)		(単位:千円)		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度						
		D	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止	事業費		予算	決算	予算	決算	予算						
		理由		特定財源	合計額	0	0	0	0	0						
		予定通り改修工事を完了したため。			(内 国費)	0	0	0	0	0						
					(内 県費)	0	0	0	0	0						
					(内 諸収入)	0	0	0	0	0						
					(内 その他)	0	0	0	0	0						
		積算額		一般財源	4,367	2,937	107,712	90,727	0							
		なし		R7年度予算の内訳 <細々節名、 予算額、 (R6年度予算額) >												
		令和8年度予算の方向性 (PLAN)		3年間の推移												

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度						
事業番号	46	事業名	放課後の子どもの居場所拡充事業		担当課		子ども未来課						
			(中事業名) 放課後児童クラブ事業		予算区分（款-項-目-中事業）		3-2-1-11 放課後児童クラブ事業						
					決算書ページ		114 ~ 115 一般						
I 基本情報	総合計画	基本目標	2	子どもが元気に育つまち									
		政策	3	子どもの健やかな成長を支える環境の整備									
		施策	(2)	安心して子どもが過ごせる場の整備									
	その他	開始年度	平成10年度										
		終了予定年度	年度	☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性			両者と協働可				
		根拠法令等	児童福祉法										
		関連計画	第2期長久手市子ども・子育て支援事業計画										
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)					
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 1,600 【事業内容】 就労等による留守家庭における子どもたちの安心・安全な居場所を確保するため、放課後児童クラブ及び学童保育所の受入れを拡充する。		【アクションプラン指標】 児童の入会者数【単年】 【その他の指標】 受入れ定員数【単年】 (放課後児童健全育成事業)		加入希望者の受入れ割合が9割5分を超えること (成果指標名) 加入希望者の受入れ割合		大 事 業 共 通 放課後の児童の居場所事業に対して、市民に事業を理解していただき、子育て支援施策に対する満足度が高い状態を実現する。					
	II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値 (2023年) 目標値 (2028年) ※AP指標のみ	区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
1			【アクションプラン指標】 児童の入会者数【単年】	人	基準値 1,600 目標値 1,700	目標値 実績	1,640 1,437	1,660	1,660	1,700	1,700		
2			【その他の指標】 受入れ定員数【単年】 (放課後児童健全育成事業)	人	基準値 - 目標値 -	目標値 実績	985 985	985	985	1,015	1,015		
3					基準値 目標値	目標値 実績							
4					基準値 目標値	目標値 実績							
事業開始の背景			保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学しているこどもたちに対し、授業の終了後に小学校内等を利用して適切な遊び及び生活の場を提供して、その健全な育成を図る。										
各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由													
R6			国が進める「新・放課後子ども総合プラン」に基づき、令和6年度より民間委託により校内交流型運営を実施し、多様化するニーズに応えと共に様々な体験、交流活動の場の提供を図った。利用できる施設に限りがあるため、入会者数の目標を達成できなかったが、今後も全ての利用者が希望できる放課後児童クラブが利用できるよう環境整備に努める。	R7									
R8			R9										

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標									
		加入希望者の受入れ割合		%	R4 年度		R5 年度		【現状】 R6 年度		R7 年度		R8 年度	
					94.8%		94.9%		100.0%		95.0%		96.0%	
		成果達成状況					指標目標値の根拠							
		A	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている					（児童クラブ、学童保育所においての） 参加児童数／申込者数 令和6年度（令和7年度入会）の入会希望状況を元に令和11年度に待機児童を解消できるよう毎年1%程度の改善を見込む。						
	評価の理由、分析													
	令和6年度は、民間委託により大幅に定員を増加できたことにより成果指標を上回る受入れができた。 しかし、待機児童が解消されたことにより、更なる加入希望者の増加が予想され、今後は再び待機児童が発生することが見込まれる。													
	今後の方向性				今後の方向性の理由									
	B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止			現在、放課後児童クラブと放課後子ども教室の校内交流型運営を3小学校区で実施しているが、今後は全6小学校区で実現できるよう取り組む。									
	改善ポイント （成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）													
加える変化（ACTION）	見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容									見直し可能年度	
	1	民間委託による放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体型運営	☐ 拡充 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	多様なニーズに対応するため利用コースを増やしたが、制度の複雑化により、一部の保護者に混乱を招いている状況もあり、利用状況を分析して利用料、利用コースの見直しを図る。									R8年度	
	2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止											
	3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止											
Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3年間の推移	（単位：千円）		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度			
		A	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		理由	事業費	予算	決算	予算	決算	予算			
							201,319	190,688	330,081	318,511	360,148			
		放課後児童クラブと放課後子ども教室の校内交流型運営（ながくてひろば）の拡充、職員の処遇改善が必要となるため。			特定財源	合計額	182,163	139,088	254,685	231,268	284,540			
		（内 国費）	72,972			50,792	94,111	84,371	106,393					
	（内 県費）	71,587	50,792	103,104		95,047	115,557							
	（内 諸収入）	37,604	37,504	57,470		51,850	62,590							
	積算額		一般財源	19,156	51,600	75,396	87,243	75,608						
	未定		R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞											
			児童クラブ等民間委託 215,252千円（190,000千円） 児童クラブ事業委託 106,473千円（100,473千円） 放課後児童支援員処遇改善事業補助金 13,862千円（13,203千円） 会計年度任用職員報酬 2,101千円（1,664千円） 会計年度任用職員期末手当 438千円（340千円） 会計年度任用職員勤続手当 368千円（285千円） 駐車場借地料 1,003千円（931千円） コンビニ収納業務取扱手数料 206千円（140千円） 植栽維持管理委託 741千円（676千円） 口座振替手数料 325千円（268千円） 通信運搬費 541千円（500千円） 廃棄物処理委託 72千円（66千円） 放課後子ども総合プラン入力支援業務委託 938千円（932千円） 移送料 28千円（23千円） 火災保険料 25千円（24千円） 会計年度任用職員時間外勤務報酬 0千円（0千円） 普通旅費 2千円（2千円） 特別旅費 40千円（40千円） 会計年度任用職員通勤費 24千円（24千円） 修繕料 775千円（775千円） クリーニング手数料 426千円（426千円） 警備委託 528千円（528千円） 医療ケア児対応委託 960千円（960千円） コピー機使用料 123千円（123千円） 学童保育所運営用建物賃借料 12,420千円（12,420千円） 緊急情報メールシステム使用料 132千円（132千円） 駐車場使用料 0千円（5千円） 印刷製本費 91千円（107千円） 児童クラブ室清掃委託 599千円（620千円） モップ等使用料 55千円（121千円） 児童クラブ用備品 175千円（262千円） A E D 賃借料 275千円（427千円） 放課後児童健全育成施設改修工事 0千円（286千円） 消耗品費 238千円（638千円） 損害保険料 912千円（2,660千円）											

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	47	事業名	小中学校施設大規模改修事業 (中事業名) 長久手小学校施設大規模改修事業		担当課		教育総務課					
					予算区分（款-項-目-中事業）		9-2-1-3 長久手小学校施設大規模改修事業					
					決算書ページ		197 ～ 199 一般					
I 基本情報	総合計画	基本目標	2	子どもが元気に育つまち								
		政策	3	子どもの健やかな成長を支える環境の整備								
		施策	(2)	安心して子どもが過ごせる場の整備								
	その他	開始年度	令和6年度									
		終了予定年度		☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働不可				
		根拠法令等										
		関連計画	学校施設長寿命化計画									
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
		【対象】 ☐ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☒ その他 対象の数： 2校 【事業内容】 老朽化が進む小中学校の屋根・外壁・天井・内装・電気設備・機械設備等の改修工事を行います。		【アクションプラン指標】 大規模改修が完了した学校数【2024年度～2028年度累計】 【その他の指標】		(成果指標名) -		大事業共通 安全して子どもが過ごせる場を整備する				
	II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度	R9(2027)年度	R10(2028)年度
1			【アクションプラン指標】 大規模改修が完了した学校数【2024年度～2028年度累計】	校	基準値 目標値	- 2	目標値 実績	1 1	0	0	0	2
2					基準値 目標値		目標値 実績					
3					基準値 目標値		目標値 実績					
4					基準値 目標値		目標値 実績					
事業開始の背景												
老朽化した学校施設の長寿命化を行い、安心安全な子どもの教育環境を維持していくため												
各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由												
R6			3年間で完了する西小学校大規模改修工事の3期工事を実施した。改修内容は、屋上防水修繕、外壁のクラック補修した上での塗り替え及び教室・特別教室の一部の内装の改修を行った。	R7								
R8				R9								

III 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標										
		-		年度	▶	年度	▶	【現状】	年度	▶	年度	▶	年度	
				成果達成状況						指標目標値の根拠				
		-	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている											
評価の理由、分析														
加える変化（ACTION）		今後の方向性		今後の方向性の理由										
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		安心して子どもが過ごせる学校施設整備が必要である									
		改善ポイント												
		（成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）												
		見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度	
		1		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☒ 廃止										
		2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止										
		3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止										
IV 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3年間の推移	（単位：千円）		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度			
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		事業費		予算	決算	予算	決算	予算			
		理由			特定財源	合計額	366,564	290,780	439,032	459,382	597,903			
		老朽化した校舎の長寿命化を継続的に行う必要があるため				（内 国費）	99,515	99,515	108,640	99,674	73,931			
						（内 県費）	0	0	0	0	0			
						（内 諸収入）	0	0	0	0	0			
						（内 その他）	0	0	0	0	0			
		積算額			一般財源	267,049	191,265	330,392	359,708	523,972				
		未定			R7年度予算の内訳 ＜細々節名、予算額、（R6年度予算額）＞ 確認申請等手数料 273千円（273千円） 大規模改修工事監理委託 14,520千円（14,520千円） 大規模改修工事 583,110千円（538,110千円） ※令和6年度繰越し事業のため（）内も同額記載									

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	48	事業名	保育園自園調理事業 (中事業名) 上郷保育園運営事業		担当課		子ども未来課					
					予算区分（款-項-目-中事業）		3-2-4-5 上郷保育園運営事業					
					決算書ページ		127 ~ 129 一般					
I 基本情報	総合計画	基本目標	2	子どもが元気に育つまち								
		政策	3	子どもの健やかな成長を支える環境の整備								
		施策	(2)	安心して子どもが過ごせる場の整備								
	その他	開始年度	令和2年度									
		終了予定年度	年度	☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		民間事業者とのみ協働可				
		根拠法令等	児童福祉法									
		関連計画	第6次長久手市総合計画、第2期長久手市子ども・子育て支援事業計画									
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		アウトプット（詳細はⅡへ）		③中間成果 (①【対象】がどのような状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 1,200 【事業内容】 保育園での自園調理は子どもたちの五感を豊かにし、心身の成長につながることから、保育所の改築に合わせ、自園調理の拡大を検討します。		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。また、それがどうなるのか) 【アクションプラン指標】 自園調理園数【単年】 【その他の指標】		こどもたちの五感を豊かにし、心身の成長につながることで、充実した保育が行われる。 (成果指標名) 食育に関する園児の学習実施月		大事業共通 こどもたちの五感を豊かにし、心身の成長につながることで、子育てしやすいまちになる。				
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度	R9(2027)年度	R10(2028)年度	
		1	【アクションプラン指標】 自園調理園数【単年】	園	基準値	1	目標値	1	1	1	1	
					目標値	1	実績	1				
		2			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		3			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		4			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		エピソード	事業開始の背景	保育園での自園調理はこどもたちの五感を豊かにし、心身の成長につながることから、令和2年度から上郷保育園で実施								
	各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
	R 6		令和2年度の上郷保育園の新設、移転に伴い自園調理を開始し、公営保育所として市内で唯一、自園調理を実施している。			R 7						
	R 8					R 9						

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標										
		食育に関する園児の学習実施月	月	R4 年度		R5 年度		【現状】 R6 年度		R8 年度		R11 年度		
				12		12		12		12		12		
		成果達成状況				指標目標値の根拠								
		B	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている				第3期長久手市子ども・子育て支援事業計画の計画期間（R7～R11年度）を踏まえR11年度を目標値として設定。							
		評価の理由、分析												
		毎月、作物の世話や収穫を行うことで、食育に関する学習機会を提供												
		今後の方向性		今後の方向性の理由										
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		引き続き、保育園での自園調理はこどもたちの五感を豊かにし、心身の成長につながることから、保育所の改築に合わせ、自園調理の拡大を検討する。									
		改善ポイント (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)												
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容							見直し可能年度				
1	学習方法の改善	☐ 拡充 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	個々の園児の状況等に応じて、作物の世話や収穫等食育に関する学習方法等を見直し、こどもたちの五感を豊かにし、心身の成長につなげる。							R7年度				
2		☐ 拡充 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止												
3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止												
Ⅳ 費用	加える変化（ACTION）	R8年度の費用（R7年度比）		(単位：千円)		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度				
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止	理由	事業費	予算	決算	予算	決算	予算				
						65,058	58,646	64,788	59,807	71,059				
		合計額		6,347	8,550	7,838	8,684	8,008						
		特定財源	(内 国費)	0	0	0	0	0						
			(内 県費)	0	0	0	0	0						
			(内 諸収入)	6,347	8,550	7,838	8,684	8,008						
			(内 その他)	0	0	0	0	0						
		一般財源		58,711	50,096	56,950	51,123	63,051						
		R7年度予算の内訳 ＜細々節名、予算額、（R6年度予算額）＞												
未定		3年間の推移	給食調理委託 33,396千円 (30,096千円) 植栽維持管理委託 1,404千円 (0千円) 給食費負担金 17,159千円 (16,392千円) 光熱水費 7,701千円 (7,039千円) 害虫防除委託 515千円 (251千円) 清掃業務委託 636千円 (464千円) 給湯器点検委託 125千円 (0千円) 厨房保守委託 497千円 (398千円) 手動式収納ステージ保守点検委託 98千円 (0千円) 自園調理用消耗品費 186千円 (90千円) 空調設備保守点検委託 621千円 (539千円) 通信運搬費 209千円 (171千円) 屋外遊具保守点検委託 121千円 (85千円) 電気設備保守委託 437千円 (423千円) 非常通報装置保守委託 52千円 (40千円) 検便等検査手数料 295千円 (289千円) 火災保険料 202千円 (197千円) 自動ドア保守点検委託 84千円 (79千円) 卒園証書記名委託 31千円 (28千円) 県社会福祉協議会負担金 48千円 (46千円) プラネタリウム入場料 8千円 (7千円) 講師料 50千円 (50千円) 医師報酬金 1,187千円 (1,187千円) 食糧費 314千円 (314千円) 修繕料 0千円 (0千円) 自園調理用修繕料 62千円 (62千円) 膳材料費 583千円 (583千円)											
ピアノ調律手数料 11千円 (11千円) 園医委託 460千円 (460千円) 消防設備保守点検委託 231千円 (231千円) 警備委託 119千円 (119千円) エレベーター保守点検委託 271千円 (271千円) 自動散水装置保守点検委託 39千円 (39千円) 放送受信料 31千円 (31千円) 自動車借上料 88千円 (88千円) AED賃借料 52千円 (52千円) コピー機使用料 169千円 (169千円) モップ使用料 61千円 (61千円) 栄養管理システム賃借料 96千円 (96千円) ICTシステム使用料 264千円 (264千円) 保育用備品 0千円 (0千円) 計量器検査手数料 0千円 (2千円) 日本スポーツ振興センター負担金 87千円 (90千円) 普通旅費 10千円 (16千円) 印刷製本費 54千円 (61千円) 自園調理用廃棄物収集運搬委託 392千円 (403千円) 廃棄物処理委託 648千円 (662千円) 室内化学物質検査手数料 0千円 (20千円) 医薬材料費 15千円 (38千円) 緊急情報メールシステム使用料 0千円 (33千円) 消耗品費 1,875千円 (2,161千円) 除草等委託 65千円 (580千円)														
※現在は、上郷保育園で自園調理を実施しているため、参考として上郷保育園運営事業の内容を記載														

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	49	事業名	アレルギー対応給食提供事業 (中事業名) 給食センター事務事業		担当課		給食センター					
					予算区分（款-項-目-中事業）		給食センター事務事業					
					決算書ページ		- ~ - 一般					
I 基本情報	総合計画	基本目標	2	子どもが元気に育つまち								
		政策	3	子どもの健やかな成長を支える環境の整備								
		施策	(2)	安心して子どもが過ごせる場の整備								
	その他	開始年度	平成23年度									
		終了予定年度		☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働不可				
		根拠法令等										
		関連計画										
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 79 【事業内容】 乳と卵のアレルギーを持つ園児、児童及び生徒に対し、保護者から提出された注文表に基づき乳と卵を除去したアレルギー対応食を提供する。		【アクションプラン指標】 対象児童生徒へのアレルギー対応食の提供割合 【その他の指標】 —		乳と卵のアレルギーを持つ園児、児童及び生徒も給食を喫食できるようになる。 (成果指標名) 乳・卵アレルギーを持つ児童・生徒に対するアレルギー食の提供割合		大 事 業 共 通 子どもが安心して給食を喫食でき、育つことのできる教育環境が実現する。				
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度	R9(2027)年度	R10(2028)年度	
		1	【アクションプラン指標】 対象児童生徒へのアレルギー対応食の提供割合	%	基準値 100 目標値 100	目標値 実績	100 100	100 100	100 100	100 100		
		2			基準値 目標値 目標値 実績							
		3			基準値 目標値 目標値 実績							
		4			基準値 目標値 目標値 実績							
		事業開始の背景		アレルギーを持つ子どもでも、安心して食べられるよう乳と卵を抜いた給食が提供できる調理施設を建設したためである。								
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
		R6	令和6年度は79人全員に対し、アレルギー除去食を提供できた。	R7								
		R8		R9								

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標											
		乳・卵アレルギーを持つ児童・生徒に対するアレルギー食の提供割合	%	R4 年度		R5 年度		【現状】 R6 年度		R7 年度		R8 年度			
				100		100		100		100		100			
		成果達成状況				指標目標値の根拠									
		B	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている				アレルギー対応食の提供は100%を上回ることも下回ることもできないため。								
		評価の理由、分析													
		達成できている。													
		加える変化（ACTION）	今後の方向性	今後の方向性の理由											
				B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		アレルギー対応食の提供は100%を上回ることも下回ることもできないため。								
				改善ポイント											
（成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）															
見直しの余地のある取組名				見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容							見直し可能年度			
1	なし			☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止											
2				☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止											
3				☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止											
Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）			R8年度の費用（R7年度比）		（単位：千円）		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度			
				B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		事業費		予算	決算	予算	決算	予算		
		理由		特定財源	合計額	0	0	0	0	0					
		アレルギー対応食の提供は100%を上回ることも下回ることもできないため。			（内 国費）	0	0	0	0	0					
					（内 県費）	0	0	0	0	0					
					（内 諸収入）	0	0	0	0	0					
					（内 その他）	0	0	0	0	0					
		積算額		一般財源	0	0	0	0	0						
				R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞											

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	50	事業名	里山保全管理活用事業 (中事業名) 里山保全管理活用事業			担当課		みどりの推進課				
						予算区分（款-項-目-中事業）		5-1-5-6 里山保全管理活用事業				
						決算書ページ		167		～ 一般		
I 基本情報	総合計画	基本目標	3	みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物								
		政策	1	万博理念を継承した自然との共生								
		施策	(1)	豊かな自然環境の保全・活用								
	その他	開始年度	平成27年度									
		終了予定年度	年度 ☒ 未定					市民・民間事業者との連携協働の可能性		市民とのみ協働可		
		根拠法令等	無し									
		関連計画	長久手市里山プラン、長久手市里山基本計画、長久手すみどりの推進計画、長久手市緑の基本計画									
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 60,000人 【事業内容】 「木望の森」を中心とした東山地区周辺の里山整備を行い、地域資源としての里山林の価値の向上に取り組みます。		【アクションプラン指標】 里山保全活動実施面積 【その他の指標】 地元団体及び近隣大学との協働により開催したイベント回数 里山保全活動を行っている団体の構成人数		里山保全事業イベントの参加人数が増加 (成果指標名) 里山保全事業イベントの参加人数		里山プランに位置づけられた地区が市民が愛着をもち楽しさを発見することができる『行ってみよう「里山」』の姿になり、さらなる里山林の価値及び愛着の向上・周知を図るため、市民が自主的にイベントを企画したり保全活動に参加する。				
	II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値 (2023年) 目標値 (2027年) ※AP指標のみ	区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度
1			【その他の指標】 地元団体及び近隣大学との協働により開催したイベント回数	回	基準値	—	目標値	5	6	6	6	6
					目標値	—	実績	4				
2			【アクションプラン指標】 里山保全活動実施面積	ha	基準値	0.35	目標値	0.45	0.55	0.65	0.70	—
					目標値	0.7	実績	0.45				
3			【その他の指標】 里山保全活動を行っている団体の構成人数	人	基準値	—	目標値	29	31	33	35	37
					目標値	—	実績	28				
4					基準値		目標値					
		目標値				実績						
エピソード		事業開始の背景	平成31年3月に策定した「長久手市里山基本計画」に基づき、市民主体での適切な里山保全・活用が図られることを目的としている。まずは、関心のある市民を増やすことで、組織化に繋がっていきたく考えている。令和4年度については、プレーパークについて興味のある人材の発掘ができ、試行を実施することとなった。									
	各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
	R6	・活動指標1 イベントの内訳としては、里山散策会【地元団体協働】（20人）、里山講演会計1回【地元団体協働】（19人）、里山体験イベント（フンディキャンプ）【近隣大学及び地元団体協働】（7人）、里山散策と焼きいも体験会【地元団体協働】（24人）、プレーパークの試行4回（56人+39人+68人+76人=239人）。 ・活動指標2 地権者と交渉を重ね、今まで手が付けられなかった協定エリアの一部を着手することができた。R6年度は竹林伐採を主に実施した。 ・活動指標3 里山イベントを通じて団体のPRも合わせて行ったが、人数の増加には至らなかった。引き続き、里山イベントを実施の際には団体への参加を促していく。			R7							
	R8				R9							

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標							
		里山保全事業イベントの参加人数		人	4 年度	5 年度	【現状】 6 年度	7 年度	－ 年度			
					186	239	309	258	－			
		成果達成状況					指標目標値の根拠					
		A	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている					R4年度実績として、8イベントで186人の参加があり、1イベント当たり24人となる。毎年1イベントずつ増やしていく。長久手市里山基本計画の目標年次である、令和7年度を目標年次とした。				
	評価の理由、分析											
	令和6年度の目標が234人に対し、309人の市民参加があった。今後も継続して市民参加を促し、里山保全の意識高揚を図っていく。											
	加える変化（ACTION）	今後の方向性		今後の方向性の理由								
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		東山地区の木望の森について、自由に入出りが出来る場所では無く、十分な活用がされていない状況であるため、新たな活用方針を見いだす必要がある。							
			改善ポイント (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)									
見直しの余地のある取組名			見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容						見直し可能年度		
1			里山保全事業委託（木望の森エリア）	☐ 拡充 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	事業を隣接している平成こども塾へ事業を移し、平成こども塾のプレーパーク事業と統合し、プログラム等にて活用することが望ましいと考える。ながくて里山クラブが整備を行った木望の森について、子ども達が立ち入り、活用することで市内市民や子ども達が里山に触れ、学ぶ機会が増える。また、ながくて里山クラブにおいても、整備を行った場所が利活用されることで活動の活性化に繋がると考える。						R 8	
2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止										
3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止										
Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		(単位：千円)		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度		
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		事業費	予算	決算	予算	決算	予算		
						800	792	832	803	13,111		
			理由			合計額	800	792	832	803	13,111	
		事務移管のため			特定財源	(内 国費)	0	0	0	0	0	
						(内 県費)	0	0	0	0	12,244	
						(内 諸収入)	0	0	0	0	0	
						(内 その他)	800	792	832	803	867	
						一般財源	0	0	0	0	0	
		積算額		R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞ 里山林整備工事 12,244千円（0千円） 里山保全事業委託 867千円（832千円）								
		3年間の推移										

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度						
事業番号	51	事業名	緑道維持管理事業 (中事業名) 緑道維持管理事業		担当課		みどりの推進課						
					予算区分（款-項-目-中事業）		7-4-3-1 緑道維持管理事業						
					決算書ページ		183		～	一般			
I 基本情報	総合計画	基本目標	3	みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物									
		政策	1	万博理念を継承した自然との共生									
		施策	(1)	豊かな自然環境の保全・活用									
	その他	開始年度	—										
		終了予定年度	年度	☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性				両者と協働不可			
		根拠法令等	無し										
		関連計画	長久手市みどりの推進計画、長久手市緑の基本計画										
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		アウトプット（詳細はⅡへ）		アウトカム（詳細はⅢへ）							
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 60,000人 【事業内容】 香流川緑地、せせらぎの径等の緑道及び緑地の適切な管理を行い、利用者の快適で安全な環境を確保します。		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。また、それがどうなるのか) 【アクションプラン指標】 除草面積（㎡） 【その他の指標】		③中間成果 (①【対象】がどのような状態に変わるのか) 快適で安全な環境が確保され、良好な都市景観が保たれていると思っている市民が増加する。 (成果指標名) 良好な都市景観がつけられていると思っている市民の割合		④最終成果 (大事業の将来像) 安心して楽しく移動できる景観の形成により、「今日はあえて、歩いてみよう」と思ってもらえるまちの実現					
	II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ		区分	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度	R9(2027)年度	R10(2028)年度
1			【アクションプラン指標】 除草面積	㎡	基準値	59,202	目標値	59,202	59,202	59,202	59,202	59,202	
					目標値	59,202	実績	59,202					
2					基準値		目標値						
					目標値		実績						
3					基準値		目標値						
					目標値		実績						
4					基準値		目標値						
		目標値				実績							
エピソード		事業開始の背景	市内の緑道を安心安全に利用してもらうため、適正な維持管理を行う必要がある。										
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
		R6	市が洞緑道において、地元要望に応じて追加で高木の剪定を行うことで、市民目線の維持管理を行うことが出来た。				R7						
	R8					R9							

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標										
		良好な都市景観がつくられていると思っている市民の割合		%	28 年度	▶	4 年度	▶	【現状】	－ 年度	▶	8 年度	▶	年度	
				44.2		41.5		－		60.0					
		成果達成状況							指標目標値の根拠						
		D	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている							第6次長久手市総合計画の基本目標6「あえて歩いてみ たくなるまち」の成果指標及び数値を準用。総合計画の 最終年次に企画政策課が実施するアンケートにて数値を 確認する。					
			評価の理由、分析												
		成果指標の数値としては減少している。除草・清掃の回数を増やすことは難しいため、委託業者と 現場に入る工程の調整を密に行い、最大限の効果を得られるようにする。													
		今後の方向性				今後の方向性の理由									
		C	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止			現場に入る時期の工程調整を事前に業者と行ったところ、除草の回数を減らせる可能性ができた。									
			改善ポイント （成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）												
加える変化（ACTION）	見直しの余地のある取組名		見直しの 方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し 可能年度			
	1	除草回数の減少	☐ 拡充 ☐ 改善 ☒ 縮小 ☐ 廃止	現場に入る時期の工程調整を事前に業者と行ったところ、除草の回数を減らせる可能性 ができた。								R 8			
	2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止												
	3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止												
Ⅳ 費用	R8年度の費用（R7年度比）		（単位：千円）												
	C	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		事業費		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度					
						予算	決算	予算	決算	予算					
	理由				45,695	46,308	47,227	47,704	47,955						
	除草回数を減らすため（3回→2回）		合計額	4,950	5,065	5,392	5,288	6,951							
			（内 国費）	0	0	0	0	0							
			（内 県費）	0	0	0	0	0							
			（内 諸収入）	0	0	0	0	0							
			（内 その他）	4,950	5,065	5,392	5,288	6,951							
	積算額		一般財源		40,745	41,243	41,835	42,416	41,004						
	委託費 －4,755千円		R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞ 緑道緑地維持管理委託 34,311千円（33,505千円） 光熱水費 1,655千円（1,361千円） 香流川草刈委託 2,769千円（2,620千円） 長湊南部地区緑地管理委託 2,882千円（2,772千円） 樹木診断委託 289千円（273千円） 警備委託 200千円（185千円） 水景施設保守点検委託 99千円（90千円） 消耗品費 4千円（4千円） 修繕料 1,000千円（1,000千円） 通信運搬費 132千円（132千円） 火災保険料 6千円（6千円） コピー機使用料 151千円（151千円） 消防設備点検委託 0千円（32千円） 緑道維持修繕工事 4,457千円（5,128千円）												
	令和8年度予算の方向性（PLAN）		3年間の推移												

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	52	事業名	長久手版プレーパーク事業		担当課		みどりの推進課					
			（中事業名）長久手版プレーパーク整備事業		予算区分（款-項-目-中事業）		9-4-1-3 長久手版プレーパーク整備事業					
					決算書ページ		225		～		一般	
I 基本情報	総合計画	基本目標	3	みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物								
		政策	1	万博理念を継承した自然との共生								
		施策	(1)	豊かな自然環境の保全・活用								
	その他	開始年度	令和元年度									
		終了予定年度	年度 ☒ 未定				市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可			
		根拠法令等	平成こども塾条例									
		関連計画	平成こども塾マスタープラン、里山プラン、里山基本計画									
	事業の概要・目的	①事業概要 （どんな取組を行うのか）		アウトプット（詳細はⅡへ）		アウトカム（詳細はⅢへ）						
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 30名 【事業内容】 長久手の里山を活用した子ども自身の意思と発想で自由に遊ぶことのできる場（プレーパーク）で活動する団体の発掘と育成、活動支援を行います。		②活動指標 （取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか） 【アクションプラン指標】 （2024年度まで） 整備箇所数 （2025年度から） 活動団体数 【その他の指標】		③中間成果 （①【対象】がどのような状態に変わるのか） 運営団体が発足し、プレーリーダーを発掘し育成する （成果指標名） 長久手版プレーパークの実施団体数		④最終成果 （大事業の将来像） 子どもも大人も「自由に遊べる場」、「居場所」として来るのが楽しい場所、特に大人にとっては互いに相談やわかちあいのできる場所となる。				
								大事業共通				
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度	R9(2027)年度	R10(2028)年度	
		1	【アクションプラン指標】 （2024年度まで） 整備箇所数	箇所	基準値	-	目標値	-	-	1	-	-
					目標値	-	実績	-				
		2	【アクションプラン指標】 （2025年度から） 活動団体数	団体	基準値	-	目標値	-	1	1	1	1
					目標値	1	実績	-				
		3			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		4			基準値		目標値					
	目標値					実績						
	エピソード	事業開始の背景		令和元年度から東海地区の先進プレーパークを年に1回視察して各所で「実施主体は市民であるべき」との意見をいただいた。その方針のもと市民運営団体とプレーリーダーの発掘を続けてきた。同時に有名プレーパークの運営者に講演を依頼して毎年その周知・啓発に努め、継続してきた。								
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
		R6	平成こども塾、市民団体それぞれが主催で計5回開催し、参加者が多数あった。平成こども塾主催のプレーパーク体験会R6.11.23（大人22人、こども23人）平成こども塾を会場として市民団体主催でプレーパークを4回試行した。市民団体による試行プレーパーク実施状況 R6.5.6、R6.9.23（大人19人、こども20人）、R7.1.13（大人30人、こども38人）、R7.2.11（大人36人、こども40人）		R7							
		R8			R9							

III 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標							
		長久手版プレーパークの実施団体数		団体	4 年度	5 年度	【現状】 6 年度	7 年度	8 年度	9 年度		
					0	1	1	1	1			
		成果達成状況				指標目標値の根拠						
		B A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている				プレーパークの実施には、市民団体の協力が必要不可欠であるため、自発的な団体が現れるのは今以上に周知され、機運が醸成されないと困難である。 現在の市民団体は、プレーパーク関連の映画上映会や有名プレーパーク運営者による講演会を実施したりとここまでできる団体は希少である。						
		評価の理由、分析										
		令和8年度開始を目標に、現在は平成こども塾で試行しているが、東海地区近隣で見ると1つの活動場所として活動しているプレーパーク団体は、どこも1つであり、それが望ましい形態であると考え。										
		今後の方向性		今後の方向性の理由								
		B A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		今後、運営団体の希望を考慮しつつ活動場所を確保する。運営が始まれば実施回数、利用人数ともに増加する見込み。活動場所としては、現時点ではこども塾周辺の里山が長久手版プレーパークとして想定されているがその活動支援を行う。								
		改善ポイント (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)										
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容					見直し可能年度				
1	プレーパークの周知	☐ 拡充 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	実施団体が手探りで実施していることから、市民全体への広報ができない状態であり、広報を拡充していく。					令和10年度				
2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止										
3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止										
IV 費用	加える変化（ACTION）	R8年度の費用（R7年度比）		(単位：千円)		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度		
		B A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		事業費		予算	決算	予算	決算	予算		
						90	74	90	72	87		
		理由		特定財源	合計額							
		市民運営団体のプレーパーク試行が続く予定。それにより、運営団体内部の問題の洗い出しやその対応を学ぶ。また、市民や参加希望者に対して、プレーパークとは何かについての周知と機運の醸成を図る期間とする。			(内 国費)							
					(内 県費)							
					(内 諸収入)							
					(内 その他)							
		積算額		一般財源		90	74	90	72	87		
				R7年度予算の内訳 <細々節名、 予算額、（R6年度予算額）> プレーパーク講師報償金 70千円（70千円） 消耗品費 4千円（4千円） 駐車場使用料 1千円（1千円） 道路通行料 5千円（5千円） 特別旅費 7千円（10千円）								

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度						
事業番号	53	事業名	自然環境保全事業			担当課		環境課					
			(中事業名) 自然環境保全事業			予算区分（款-項-目-中事業）		4-1-3-3 自然環境保全事業					
						決算書ページ		152 ~ 153 一般					
I 基本情報	総合計画	基本目標	3	みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物									
		政策	1	万博理念を継承した自然との共生									
		施策	(1)	豊かな自然環境の保全・活用									
	その他	開始年度	-										
		終了予定年度	年度	☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性			両者と協働可				
		根拠法令等	自然環境保全法、生物多様性基本法、生物多様性地域連携促進法等										
		関連計画	長久手市環境基本条例、第4次長久手環境基本計画										
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)					
		【対象】 ☒ 市民 ☒ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 60,000人+事業所 【事業内容】 里山に点在する湿地等、貴重な生態系資源が存在する区域への保護エリアの指定や、それらを保全していくための活動を行います。		【アクションプラン指標】 ニノ池湿地群保全管理計画推進協議会の開催（回） 【その他の指標】		人と地域がつながり、自然と環境にこだわるまちを目指して行動する人々が増える。 (成果指標名) 自然観察会・勉強会の参加者数		大事業共通 くらしの安心や健康、幸せや豊かさを実感できる。環境を通じて、地域、自然、世界とつながる物語が生まれる。					
	II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
1			【アクションプラン指標】 ニノ池湿地群保全管理計画推進協議会の開催（回）	回	基準値	1	目標値	1	1	1	1		
					目標値	1	実績	1					
2					基準値		目標値						
					目標値		実績						
3					基準値		目標値						
					目標値		実績						
4					基準値		目標値						
		目標値				実績							
エピソード		事業開始の背景 1972年に自然環境保全法が制定されるなど、自然環境保全に日本全国及び世界的にも取り組んでいる。本市においても、第4次長久手市環境基本計画（令和3年度～）を策定し、自然共生のくらしと地域づくりを目標に事業を進めている。											
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
		R6	令和6年度は、鳥インフルエンザの影響で、ニノ池湿地群保全管理推進協議会として、現地に入ることはできなかったが、ニノ池湿地群保全管理計画推進協議会は机上で開催し、普段活動している長久手湿地保全の会の活動の報告に基づき、令和7年度のニノ池湿地群保全管理計画を策定した。			R7							
		R8				R9							

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標							
		自然観察会・勉強会の参加者数		人	R1 年度	R2 年度	【現状】 R6 年度	R8 年度	R10 年度			
					117		147			454	474	494
		成果達成状況					指標目標値の根拠					
		B	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている					第4次環境基本計画において、2030年までの取組のキーワードを、「人づくり・地域づくり」としている。 市民一人ひとりによる生物多様性の危機的状況や重要性の十分な理解や、将来の担い手となる人材発掘により、下地を育むため、毎年度、自然観察会や勉強会の開催をし、10人程度の参加者を見込み、市民への意識啓発を進める。				
	評価の理由、分析											
	令和6年9月に湿地見学会を開催し、貴重な自然の現場を見学していただいた。 また、令和6年7月に東小学校からの依頼を受け、4年生に対して、環境学習会を開催した。 以上の事業により、市民の自然への理解は深まったと認識しており、継続して、自然観察会等の開催する。											
	加える変化（ACTION）	今後の方向性		今後の方向性の理由								
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		市民活動団体による自然環境保全活動を支援しながら、貴重な本市の環境を保全していきたい。貴重種の生息する地区は、県有地または私有地のため、市が直接的な整備事業を行うものではなく、啓発活動と市民の保全活動を支援する。							
		改善ポイント （成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）										
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容						見直し可能年度			
1		自然観察会・勉強会の内容研究	☐ 拡充 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	自然環境の保全活動への担い手の人材発掘ができるような内容とするため、自然の観察のみではなく、保全活動の体験ができるような内容にするなど、自然観察会・勉強会等の内容を研究していく。						令和7年度		
Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		（単位：千円）		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度		
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		事業費		予算	決算	予算	決算	予算	
		理由				2,767	2,796	3,341	3,098	3,195		
		自然環境の保全を進めるにあたり、観察会、調査、アドバイザー会議等の実施が必要であり、令和7年度と同等の費用が必要なため。		特定財源	合計額							
					（内 国費）							
（内 県費）												
（内 諸収入）												
積算額		一般財源		2,767	2,796	3,341	3,098	3,195				
令和7年度予算の内訳参照		3年間の推移		R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞ 特別旅費 50千円（0千円） 道路通行料 6千円（0千円） 消耗品費 102千円（100千円） 自然環境保全アドバイザー報酬金 73千円（73千円） 自然環境保全等事業委託 2,964千円（3,168千円）								

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度							
事業番号	54	事業名	自然環境保全活動支援事業 (中事業名) 自然環境保全事業			担当課		環境課						
						予算区分（款-項-目-中事業）		4-1-3-3 自然環境保全事業						
						決算書ページ		152		～ 153		一般		
I 基本情報	総合計画	基本目標	3	みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物										
		政策	1	万博理念を継承した自然との共生										
		施策	(1)	豊かな自然環境の保全・活用										
	その他	開始年度	—											
		終了予定年度	年度		☒	未定		市民・民間事業者との連携協働の可能性				両者と協働可		
		根拠法令等	自然環境保全法、生物多様性基本法、生物多様性地域連携促進法等											
		関連計画	長久手市環境基本条例、第4次長久手環境基本計画											
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)			③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)				④最終成果 (大事業の将来像)			
		【対象】 ☒ 市民 ☒ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 60,000人+事業所		【アクションプラン指標】 自然環境保全アドバイザー会議の開催【単年】 【その他の指標】			人と地域がつながり、自然と 環境にこだわるまちを目指し て行動する人々が増える。 (成果指標名) 自然観察会・勉強会の参加者 数				大 事 業 共 通 くらしの安心や健康、幸せや 豊かさを実感できる。 環境を通じて、地域、自然、 世界とつながる物語が生まれ る。			
		【事業内容】 市民活動団体による自然環境 保全活動や貴重種保全活動、 外来種駆除活動の支援を行う とともに、東部丘陵生態系 ネットワーク協議会と調整を 図りながら、広域での生物多 様性の保全活動を行います。												
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度			
		1	【アクションプラン指標】 自然環境保全アドバイザー会議の開催【単年】	回	基準値	1	目標値	1	1	1	1			
					目標値	1	実績	1						
		2			基準値		目標値							
					目標値		実績							
		3			基準値		目標値							
					目標値		実績							
		4			基準値		目標値							
					目標値		実績							
	エピソード	事業開始 の背景		1972年に自然環境保全法が制定されるなど、自然環境保全に日本全国及び世界的にも取り組んでいる。本市においても、第4次長久手市環境基本計画（令和3年度～）を策定し、自然共生のくらしと地域づくりを目標に事業を進めている。										
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由												
		R 6	令和6年度は、自然環境保全アドバイザー会議を令和7年1月31日に開催し、生態系保護エリアの状況について報告し、アドバイザーから今後の方策等に向けた助言をいただいた。			R 7								
R 8					R 9									

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標											
		自然観察会・勉強会の参加者数		回	R1 年度		R2 年度		【現状】 R6 年度		R8 年度		R10 年度			
					117		147		454		474		494			
		成果達成状況					指標目標値の根拠									
		B		A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている			第4次環境基本計画において、2030年までの取組のキーワードを、「人づくり・地域づくり」としている。 市民一人ひとりによる生物多様性の危機的状況や重要性の十分な理解や、将来の担い手となる人材発掘により、下地を育むため、毎年度、自然観察会や勉強会の開催をし、10人程度の参加者を見込み、市民への意識啓発を進める。									
		評価の理由、分析														
		令和6年9月に湿地見学会を開催し、貴重な自然の現場を見学していただいた。 また、令和6年7月に東小学校からの依頼を受け、4年生に対して、環境学習会を開催した。 以上の事業により、市民の自然への理解は深まったと認識しており、継続して、自然観察会等の開催する。														
		今後の方向性		今後の方向性の理由												
		B		A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		市民活動団体による自然環境保全活動を支援しながら、貴重な本市の環境を保全していきたい。貴重種の生息する地区は、県有地または私有地のため、市が直接的な整備事業を行うものではなく、啓発活動と市民の保全活動を支援する。										
		改善ポイント (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)														
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容									見直し可能年度				
1	自然観察会・勉強会の内容研究	☐ 拡充 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	自然環境の保全活動への担い手の人材発掘ができるような内容とするため、自然の観察のみではなく、保全活動の体験ができるような内容にするなど、自然観察会・勉強会等の内容を研究していく。									令和7年度				
2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止														
3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止														
Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3年間の推移	（単位：千円）		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度					
		B			事業費		予算	決算	予算	決算	予算					
		A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止			2,767		2,796		3,341		3,098		3,195			
		理由			特定財源	合計額										
		自然環境の保全を進めるにあたり、観察会、調査、アドバイザー会議等の実施が必要であり、令和7年度と同等の費用が必要なため。				(内 国費)										
						(内 県費)										
						(内 諸収入)										
						(内 その他)										
		積算額			一般財源		2,767		2,796		3,341		3,098		3,195	
		令和7年度予算の内訳参照			R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞ 特別旅費 50千円（0千円） 道路通行料 6千円（0千円） 消耗品費 102千円（100千円） 自然環境保全アドバイザー報酬金 73千円（73千円） 自然環境保全等事業委託 2,964千円（3,168千円）											

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度						
事業番号	55	事業名	自然環境調査事業 (中事業名) 自然環境保全事業			担当課		環境課					
						予算区分（款-項-目-中事業）		4-1-3-3 自然環境保全事業					
						決算書ページ		152		～ 153		一般	
I 基本情報	総合計画	基本目標	3	みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物									
		政策	1	万博理念を継承した自然との共生									
		施策	(2)	自然に愛着を持つ地域づくりの推進									
	その他	開始年度	—										
		終了予定年度	年度		☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性				両者と協働可		
		根拠法令等	自然環境保全法、生物多様性基本法、生物多様性地域連携促進法等										
		関連計画	長久手市環境基本条例、第4次長久手環境基本計画										
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		アウトプット（詳細はⅡへ）			アウトカム（詳細はⅢへ）						
		【対象】 ☒ 市民 ☒ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 60,000人+事業所 【事業内容】 2012、2013年度に行った本市全域の自然環境調査を土台に、環境指標種については市民参加による調査、自然性の高い重要箇所については専門家によるモニタリング調査を行います。		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。また、それがどうなるのか) 【アクションプラン指標】 自然環境調査への市民参加者数【単年】 【その他の指標】			③中間成果 (①【対象】がどのような状態に変わるのか) 人と地域がつながり、自然と環境にこだわるまちを目指して行動する人々が増える。 (成果指標名) 自然観察会・勉強会の参加者数			④最終成果 (大事業の将来像) 大事業共通 くらしの安心や健康、幸せや豊かさを実感できる。環境を通じて、地域、自然、世界とつながる物語が生まれる。			
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ		区分	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度	R9(2027)年度	R10(2028)年度	
		1	【アクションプラン指標】 自然環境調査への市民参加者数【単年】	人	基準値	245	目標値	255	265	275	285	295	
					目標値	295	実績	256					
		2			基準値		目標値						
					目標値		実績						
		3			基準値		目標値						
					目標値		実績						
		4			基準値		目標値						
					目標値		実績						
	エピソード	事業開始 1972年に自然環境保全法が制定されるなど、自然環境保全に日本全国及び世界的にも取り組んでいる。本市においても、第4次長久手市の背景 環境基本計画（令和3年度～）を策定し、自然共生のくらしと地域づくりを目標に事業を進めている。											
各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由													
エピソード	R6	湿地の保全活動を実施している市民活動団体の活動と合わせて、モニタリング調査を実施した。平成24年度に指定した重点箇所内、特に二ノ池湿地を調査対象場所として、希少種や環境指標種候補、外来種の生息状況について調査を行った。また、危険分散のために移植した希少種の生息状況について追跡調査を行い、生息できていることを確認した。			R7								
	R8				R9								

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標							
		自然観察会・勉強会の参加者数		回	R1 年度	R2 年度	【現状】 R6 年度	R8 年度	R10 年度			
					117		147			454	474	494
		成果達成状況					指標目標値の根拠					
		B	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている					第4次環境基本計画において、2030年までの取組のキーワードを、「人づくり・地域づくり」としている。 市民一人ひとりによる生物多様性の危機的状況や重要性の十分な理解や、将来の担い手となる人材発掘により、下地を育むため、毎年度、自然観察会や勉強会の開催をし、10人程度の参加者を見込み、市民への意識啓発を進める。				
	評価の理由、分析											
	令和6年9月に湿地見学会を開催し、貴重な自然の現場を見学していただいた。 また、令和6年7月に東小学校からの依頼を受け、4年生に対して、環境学習会を開催した。 以上の事業により、市民の自然への理解は深まったと認識しており、継続して、自然観察会等の開催する。											
	加える変化（ACTION）	今後の方向性		今後の方向性の理由								
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		市民活動団体による自然環境保全活動を支援しながら、貴重な本市の環境を保全していきたい。貴重種の生息する地区は、県有地または私有地のため、市が直接的な整備事業を行うものではなく、啓発活動と市民の保全活動を支援する。							
		改善ポイント （成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）										
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容						見直し可能年度			
1		自然観察会・勉強会の内容研究	☐ 拡充 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	自然環境の保全活動への担い手の人材発掘ができるような内容とするため、自然の観察のみではなく、保全活動の体験ができるような内容にするなど、自然観察会・勉強会等の内容を研究していく。						令和7年度		
Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		（単位：千円）		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度		
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		事業費	予算	決算	予算	決算	予算		
						2,767	2,796	3,341	3,098	3,195		
理由		特定財源	合計額									
自然環境の保全を進めるにあたり、観察会、調査、アドバイザー会議等の実施が必要であり、令和7年度と同等の費用が必要なため。			(内 国費)									
			(内 県費)									
			(内 諸収入)									
			(内 その他)									
積算額		一般財源	2,767	2,796	3,341	3,098	3,195					
令和7年度予算の内訳参照		R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞ 特別旅費 50千円（0千円） 道路通行料 6千円（0千円） 消耗品費 102千円（100千円） 自然環境保全アドバイザー報酬金 73千円（73千円） 自然環境保全等事業委託 2,964千円（3,168千円）										
		3年間の推移										

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度						
事業番号	56	事業名	自然環境保全人材育成事業 (中事業名) 自然環境保全事業			担当課		環境課					
						予算区分（款-項-目-中事業）		4-1-3-3 自然環境保全事業					
						決算書ページ		152		～ 153		一般	
I 基本情報	総合計画	基本目標	3	みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物									
		政策	1	万博理念を継承した自然との共生									
		施策	(2)	自然に愛着を持つ地域づくりの推進									
	その他	開始年度	—										
		終了予定年度	年度		☒	未定		市民・民間事業者との連携協働の可能性			両者と協働可		
		根拠法令等	自然環境保全法、生物多様性基本法、生物多様性地域連携促進法等										
		関連計画	長久手市環境基本条例、第4次長久手環境基本計画										
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		アウトプット（詳細はⅡへ）			アウトカム（詳細はⅢへ）						
		【対象】 ☒ 市民 ☒ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 60,000人+事業所 【事業内容】 自然保護の重要性を知り、保全活動を担う人材を育成するため、長久手の自然を紹介する観察会や勉強会を開催します。		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。また、それがどうなるのか) 【アクションプラン指標】 自然観察会・勉強会開催回数(回) 【その他の指標】			③中間成果 (①【対象】がどのような状態に変わるのか) 人と地域がつながり、自然と環境にこだわるまちを目指して行動する人々が増える。 (成果指標名) 自然観察会・勉強会の参加者数			④最終成果 (大事業の将来像) 大 事 業 共 通 くらしの安心や健康、幸せや豊かさを実感できる。環境を通じて、地域、自然、世界とつながる物語が生まれる。			
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ		区分	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度	R9(2027)年度	R10(2028)年度	
		1	【アクションプラン指標】 自然観察会・勉強会開催回数（回）	回	基準値	1	目標値	1	1	1	1	1	
					目標値	1	実績	2					
		2			基準値		目標値						
					目標値		実績						
		3			基準値		目標値						
					目標値		実績						
		4			基準値		目標値						
	目標値					実績							
	エピソード	事業開始の背景 1972年に自然環境保全法が制定されるなど、自然環境保全に日本全国及び世界的にも取り組んでいる。本市においても、第4次長久手市環境基本計画（令和3年度～）を策定し、自然共生のくらしと地域づくりを目標に事業を進めている。											
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
		R 6	令和6年9月に湿地見学会を開催し、貴重な自然の現場を見学していただいた。 また、令和6年7月に東小学校からの依頼を受け、4年生に対して、環境学習会を開催した。			R 7							
		R 8				R 9							

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標										
		自然観察会・勉強会の参加者数		回	R1 年度		R2 年度		【現状】 R6 年度		R8 年度		R10 年度		
					117		147		454		474		494		
		成果達成状況							指標目標値の根拠						
		B	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている							第4次環境基本計画において、2030年までの取組のキーワードを、「人づくり・地域づくり」としている。 市民一人ひとりによる生物多様性の危機的状況や重要性の十分な理解や、将来の担い手となる人材発掘により、下地を育むため、毎年度、自然観察会や勉強会の開催をし、10人程度の参加者を見込み、市民への意識啓発を進める。					
	評価の理由、分析														
	令和6年9月に湿地見学会を開催し、貴重な自然の現場を見学していただいた。 また、令和6年7月に東小学校からの依頼を受け、4年生に対して、環境学習会を開催した。 以上の事業により、市民の自然への理解は深まったと認識しており、継続して、自然観察会等の開催する。														
	加える変化（ACTION）	今後の方向性		今後の方向性の理由											
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		市民活動団体による自然環境保全活動を支援しながら、貴重な本市の環境を保全していきたい。貴重種の生息する地区は、県有地または私有地のため、市が直接的な整備事業を行うものではなく、啓発活動と市民の保全活動を支援する。										
		改善ポイント (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)													
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容									見直し可能年度			
1		自然観察会・勉強会の内容研究	☐ 拡充 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	自然環境の保全活動への担い手の人材発掘ができるような内容とするため、自然の観察のみではなく、保全活動の体験ができるような内容にするなど、自然観察会・勉強会等の内容を研究していく。									令和7年度		
2			☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止												
Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		(単位：千円)		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度					
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		事業費	予算	決算	予算	決算	予算					
						2,767	2,796	3,341	3,098	3,195					
			理由			特定財源	合計額								
		自然環境の保全を進めるにあたり、観察会、調査、アドバイザー会議等の実施が必要であり、令和7年度と同等の費用が必要なため。		(内 国費)											
				(内 県費)											
				(内 諸収入)											
				(内 その他)											
		一般財源		2,767	2,796	3,341	3,098	3,195							
		積算額		R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞											
令和7年度予算の内訳参照		特別旅費 50千円（0千円） 道路通行料 6千円（0千円） 消耗品費 102千円（100千円） 自然環境保全アドバイザー報酬金 73千円（73千円） 自然環境保全等事業委託 2,964千円（3,168千円）													
		3年間の推移													

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	57	事業名	香流川植栽整備事業			担当課		みどりの推進課				
			(中事業名) 香流川植栽整備事業			予算区分（款-項-目-中事業）		7-4-3-4 香流川植栽整備事業				
						決算書ページ		183		～ 一般		
I 基本情報	総合計画	基本目標	3	みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物	6	あえて歩いてみたくなるまち						
		政策	1	万博理念を継承した自然との共生	2	暮らしで心地よい生活環境の形成						
		施策	(4)	水辺に親しめる環境の整備	(3)	良好な住環境の形成						
	その他	開始年度	令和3年度									
		終了予定年度	令和8年度 ☐ 未定			市民・民間事業者との連携協働の可能性			市民とのみ協働可			
		根拠法令等	無し									
		関連計画	長久手市みどりの推進計画、長久手市緑の基本計画									
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		アウトプット（詳細はⅡへ）		アウトカム（詳細はⅢへ）						
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 60,000人 【事業内容】 「香流川整備計画」に基づき、香流川中上流域における、香流川植栽整備を行い、木陰とうるおいのある水辺空間を整えます。		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。また、それがどうなるのか) 【アクションプラン指標】 整備本数（本） 【その他の指標】		③中間成果 (①【対象】がどのような状態に変わるのか) 豊かな自然環境があると思っ ている市民が増加する (成果指標名) 豊かな自然環境があると思っ ている市民の割合		④最終成果 (大事業の将来像) 豊かな自然環境と共生し、今 ある自然環境を、子どもたち へ、またその次の子どもたち へつないでいくまちの実現				
								大 事 業 共 通				
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2026年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
		1	【アクションプラン指標】 整備本数	本	基準値	11	目標値	11	11	90	-	-
					目標値	90	実績	11				
		2			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		3			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		4			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		事業開始の背景 「平成25年度香流川整備計画」にて策定された重点整備計画に基づき、香流川中上流域において香流川植栽整備を行い、うるおいのある水辺空間を整える。また、「長久手市みどりの基本計画」においても緑化重点地区として位置づけられている。										
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
		R6	溝下橋から蛭子橋の区域において、植栽工事を進めるための詳細設計を行った。現地調査後、過年度の植樹形態と風景を合わせると共に、費用対効果も考慮しつつ、候補地や工法の選定を行った。				R7					
		R8					R9					

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標							
		豊かな自然環境があると思っている市民の割合		%	28 年度	4 年度	【現状】	－ 年度	8 年度	年度		
					51.8	53.0		－	70.0			
		成果達成状況				指標目標値の根拠						
		C	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている				第6次長久手市総合計画の基本目標3「みんなで未来へつなぐ緑はまちの宝物」の成果指標及び数値を準用。総合計画の最終年次に企画政策課が実施するアンケートにて数値を確認する。					
		評価の理由、分析										
		成果指標の数値としては増加している。令和6年度に実施した詳細設計を基に、令和8年度に植栽工事を実施していく。										
		加える変化（ACTION）		今後の方向性		今後の方向性の理由						
				B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		令和6年度に実施した詳細設計を基に、令和8年度に植栽工事を実施していく。					
改善ポイント (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)												
見直しの余地のある取組名				見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容					見直し可能年度		
1	植栽整備工事の県費活用			☐ 拡充 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	植栽工事の際に、市民参加型の植樹祭形式で実施した場合、あいち森と緑づくり都市緑化推進事業の補助金に該当する可能性があるため、愛知県との協議を進める。					R 8		
2				☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止								
3				☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止								
Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）			R8年度の費用（R7年度比）		(単位：千円)		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度
				B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		事業費		予算	決算	予算	決算
		理由		特定財源	合計額	-	-	6,446	6,655	-		
		令和8年度工事を実施するため、令和7年度の予算措置は無し			(内 国費)	-	-	0	0	-		
					(内 県費)	-	-	0	0	-		
					(内 諸収入)	-	-	0	0	-		
					(内 その他)	-	-	6,446	6,655	-		
		積算額		一般財源	-	-	0	0	-			
				R7年度予算の内訳 <細々節名、 予算額、（R6年度予算額）>								

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	58	事業名	有害鳥獣対策事業		担当課		みどりの推進課					
					予算区分（款-項-目-中事業）		5-1-7-3 有害鳥獣対策事業					
			(中事業名) 有害鳥獣対策事業		決算書ページ		169		～	一般		
I 基本情報	総合計画	基本目標	3	みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物								
		政策	2	農あるくらしの推進								
		施策	(1)	農の活性化に向けた支援								
	その他	開始年度	H29									
		終了予定年度	年度	☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働不可				
		根拠法令等	長久手市有害鳥獣侵入防止対策補助金交付要綱									
	関連計画	なし										
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		アウトプット（詳細はⅡへ）		アウトカム（詳細はⅢへ）						
		【対象】 ☐ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☒ その他 対象の数： 不明 【事業内容】 有害鳥獣による農作物の被害を防止するため、有害鳥獣侵入防止柵の設置補助等、有害鳥獣対策事業を行います。		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
				【アクションプラン指標】 補助金による有害鳥獣侵入防止柵の設置件数(件)【単年】		防護柵設置の費用負担が軽減され、また農作物の防護を図ることができる。 (成果指標名) 補助金による有害鳥獣侵入防止柵の設置件数		大事業共通 農を支え、様々な人材を農地につなげ、地域農業の再生、市民・民間主体による「農」の活性化を図る。				
【その他の指標】 回覧板、広報及びHPによる周知(回)【単年】												
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値 (2023年) 目標値 (2028年) ※AP指標のみ	区分	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度	R9(2027)年度	R10(2028)年度	
		1	【アクションプラン指標】 補助金による有害鳥獣侵入防止柵の設置件数(件)【単年】	件	基準値	1	目標値	4	4	4	3	3
					目標値	3	実績	5				
		2	【その他の指標】 回覧板、広報及びHPによる周知(回)【単年】	回	基準値	-	目標値	1	1	1	1	1
					目標値	-	実績	1				
		3			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		4			基準値		目標値					
	目標値					実績						
	エピソード	事業開始の背景	有害鳥獣による農作物の被害を防止し、農業生産の維持及び向上を図る必要性があったため。									
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
		R6	補助制度について回覧板、広報及びHPによる周知を行った。結果として目標値を上回る実績になった。			R7						
R8					R9							

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）				単位		成果指標の推移と目標				
		補助金による有害鳥獣侵入防止柵の設置件数		件	H26 年度	H31 年度	【現状】 R6 年度	R8 年度	R11 年度			
					—	10	5	4	3			
		成果達成状況						指標目標値の根拠				
		C	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている						単年度の実績及びこれまでの積み上げから設定した。			
			評価の理由、分析									
			概ね目標どおりであるが、平成31年度実績よりも下回っているため。									
		今後の方向性				今後の方向性の理由						
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		概ね目標どおりであるため。							
改善ポイント												
(成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)												
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容					見直し可能年度				
1	事業の周知	☒ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	回覧板、広報及びHPによる周知だけでなく、営農者に直接周知を行う。					R7				
2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止										
3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止										
Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3 年間の 推移	(単位：千円)		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度	
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		事業費	予算	決算	予算	決算	予算		
						350	14	300	188	531		
		理由			特定財源	合計額						
		令和6年度実績から現状維持が妥当と判断したため。				(内 国費)						
						(内 県費)						
						(内 諸収入)						
						(内 その他)						
		積算額			一般財源	350	14	300	188	531		
50千円／年×交付対象者6件		R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞ 有害鳥獣捕獲処理謝礼金 225千円（225千円） 普通旅費 6千円（6千円） 有害鳥獣侵入防止対策補助金 300千円（300千円）										

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度						
事業番号	59	事業名	農業用施設改修事業 (中事業名) 土地改良施設維持管理適正化事業		担当課		みどりの推進課						
					予算区分（款-項-目-中事業）		5-1-4 土地改良施設維持管理適正化事業						
					決算書ページ		165 ~ 166 一般						
I 基本情報	総合計画	基本目標	3	みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物									
		政策	2	農あるくらしの推進									
		施策	(1)	農の活性化に向けた支援									
	その他	開始年度	R6										
		終了予定年度	R6年度 ☐ 未定		市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働不可						
		根拠法令等	—										
		関連計画	—										
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)					
		【対象】 ☐ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☒ その他 対象の数： 1		【アクションプラン指標】 ため池の浚渫箇所数(箇所)		— (成果指標名) — —		大 事 業 共 通 農業に欠かせない水源を確 保、保全する。					
		【事業内容】 農業に欠かせない水源を確 保、保全するため、河川から の取水に必要な転倒ゲートの 設置等、農業用施設の改修・ 修繕を行います。 また、農業用ため池の浚渫工 事を行います。											
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ		区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
		1	【アクションプラン指標】 ため池の浚渫箇所数	箇所	基準値	—	目標値		1	—	—	—	—
					目標値	1	実績	1					
		2			基準値		目標値						
					目標値		実績						
		3			基準値		目標値						
					目標値		実績						
		4			基準値		目標値						
					目標値		実績						
		エピソード	事業開始の背景		池に土砂が堆積したことによって貯水機能が低下しており、浚渫の必要があると判断したため。								
	各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由												
	R 6		杣ノ洞下池浚渫工事を実施した V=720m ³			R 7							
	R 8					R 9							

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標									
		—		年度	▶	年度	▶	【現状】	年度	▶	年度	▶	年度
		—		—		—		—		—		—	
		成果達成状況				指標目標値の根拠							
		—	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている										
	評価の理由、分析												
	加える変化（ACTION）	今後の方向性	今後の方向性の理由										
		D	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		事業が完了したため。								
		改善ポイント (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)											
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度		
1			☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止										
Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）	（単位：千円）		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度				
		D	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		事業費		予算	決算	予算	決算	予算		
		理由				0	0	48,293	48,007	2,356			
		特定財源	合計額			31,875	31,875						
			(内 国費)			21,250	21,250						
			(内 県費)			10,625	10,625						
			(内 諸収入)										
積算額		一般財源			16,418	16,132	2,356						
R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞													
土地改良施設維持管理適正化事業賦課金 2,356千円（3,013千円） 杣ノ洞下池浚渫工事設計書作成業務委託 0千円（1,056千円） 杣ノ洞下池浚渫工事 0千円（44,224千円）													

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	60	事業名	給食食材生産会事業 (中事業名) -		担当課		みどりの推進課					
					予算区分（款-項-目-中事業）		-					
					決算書ページ		- ~ -					
I 基本情報	総合計画	基本目標	3	みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物								
		政策	2	農あるくらしの推進								
		施策	(1)	農の活性化に向けた支援								
	その他	開始年度	H24									
		終了予定年度		☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働不可				
		根拠法令等	-									
		関連計画	-									
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
		【対象】 ☐ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☒ その他 対象の数： 不明 【事業内容】 環境保全型農業による安心・安全な農産物を生産し、学校給食に対して年間を通じて安定的に市内農産物の供給を行い、食育を推進します。		【アクションプラン指標】 学校給食に納品する農産物の生産者数(人)【累計】 【その他指標】 毎月、給食食材生産会を開催し、給食への納品等について意見交換を行う。(回)【単年】		学校給食に納品する農産物の生産者数が増加する。 (成果指標名) 学校給食に納品する農産物の生産者数		大 事 業 共 通 学校給食を通じて、食と農に対する正しい知識と理解の醸成を図る。				
	II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度	R9(2027)年度	R10(2028)年度
1			【アクションプラン指標】 学校給食に納品する農産物の生産者数(人)【累計】	人	基準値	5	目標値	6	7	8	9	10
					目標値	10	実績	8				
2			【その他指標】 毎月、給食食材生産会を開催し、給食への納品等について意見交換を行う。	回	基準値	-	目標値	12	12	12	12	12
					目標値	-	実績	12				
3					基準値		目標値					
					目標値		実績					
4					基準値		目標値					
		目標値				実績						
エビソード		事業開始の背景		学校給食を通じて、市内で採れた安心・安全・新鮮な農産物を供給し、さらに生産者との交流等を通じて、食と農に対する正しい知識と理解の醸成を図る必要性があったため。								
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
		R 6	給食食材生産会を開催し、給食への納品等について意見交換を行った。しかしながら、他の農業者へのPRが不足していたと考えている。			R 7						
		R 8				R 9						

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標									
		学校給食に納品する農産物の生産者数		人	H26 年度		R4 年度		【現状】	R6 年度		R8 年度		R11 年度
					28		12		8		8		11	
		成果達成状況					指標目標値の根拠							
		A		A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている			実績、現状及び必要な供給能力を確保するための生産者数を想定した。							
	評価の理由、分析													
	農業者の給食食材への出荷に対する意欲が高まっていると考えている。													
	加える変化（ACTION）	今後の方向性		今後の方向性の理由										
		A		A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止			安定的に納品するために、学校給食に納品する農産物の生産者数の増加が必要と考えるため。							
		改善ポイント (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)												
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度			
1		あぐりん村の出荷者に対するPRを行う。	☒ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	あぐりん村の出荷者に給食食材への積極的な出荷を働きかける。								R 7		
Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		（単位：千円）		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度				
		A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		事業費		予算	決算	予算	決算	予算				
		理由		特定財源	合計額									
		(内 国費)												
		(内 県費)												
		(内 諸収入)												
		(内 その他)												
積算額		一般財源												
		R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞												

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）						対象年度		令和6年度				
事業番号	61	事業名	田園バレー事業 (中事業名) アグリサポート振興事業			担当課		みどりの推進課				
						予算区分（款-項-目-中事業）		5-1-7 アグリサポート振興事業				
						決算書ページ		169		～	一般	
I 基本情報	総合計画	基本目標	3 ;みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物									
		政策	2 ;農あるくらしの推進									
		施策	(1) ;農の活性化に向けた支援									
	その他	開始年度	H16									
		終了予定年度	年度	☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働不可				
		根拠法令等	長久手農楽校設置要綱									
	関連計画	なし										
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
		【対象】 ☐ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☒ その他 対象の数： 不明		【アクションプラン指標】 長久手農楽校受講者数(人) 【単年】 【その他指標】 広報及びホームページで受講生を募集する。【単年】		農業を始めたい人又は農作業を体験したい人が、農作業を行うにあたって基本的又は実践的知識及び技術を習得することができる。 (成果指標名) 長久手農楽校受講者数(人) 【単年】		大 事 業 共 通 気軽に農に触れることができるようになることで、農に対する関心を高め、農業の楽しさを理解してもらう。				
		環境への負担を軽減し、安全な農産物を提供するため、地域特性に応じた農業を推進します。										
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値 (2023年) 目標値 (2028年) ※AP指標のみ	区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
		1	【アクションプラン指標】 長久手農楽校受講者数(人)【単年】	人	基準値	33	目標値	40	40	40	40	40
					目標値	40	実績	40				
		2	【その他指標】 広報及びホームページで受講生を募集する。【単年】	回	基準値	-	目標値	1	1	1	1	1
					目標値	-	実績	1				
		3			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		4			基準値		目標値					
	目標値					実績						
	エピソード	事業開始の背景	長久手田園バレー事業の生産振興関連施策として、多様な担い手の育成を目指す必要性があったため。									
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
		R 6	農楽校のほ場での実習を90回実施した。また広報及びホームページで受講生を募集した。			R 7						
		R 8				R 9						

Ⅲ事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標										
		長久手農楽校受講者数(人)【単年】		人	H26 年度		H31 年度		【現状】 R6 年度		R8 年度		R11 年度		
					35		44		40		40		40		
		成果達成状況					指標目標値の根拠								
		B	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている					ほ場の面積及び講師、サポートスタッフの人員等から設定した。							
	評価の理由、分析														
	目標値と実績値に差異がないため。														
	加える変化（ACTION）	今後の方向性		今後の方向性の理由											
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		ほ場の面積及び講師、サポートスタッフの人員等から現状維持が妥当と判断したため。										
		改善ポイント													
(成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)															
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度				
1	受講者から農楽校のPRを行う。	☒ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	受講者から市内在住者に農楽校をPRし、参加を働きかける。								R7				
2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止													
3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止													
Ⅳ費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3年間の推移	(単位：千円)	R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度					
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		事業費	予算	決算	予算	決算	予算					
		理由				7,526	7,312	7,386	7,226	7,853					
		適正な事業規模で実施しているため。			合計額	1,912	1,577	2,277	2,187	2,790					
					(内 国費)										
					(内 県費)										
					(内 諸収入)	1,912	1,577	2,277	2,187	2,790					
					(内 その他)										
		積算額			一般財源	5,614	5,735	5,109	5,039	5,063					
		アグリサポート振興事業運営業務委託 7,689千円 印刷製本費 31千円 消耗品費 20千円 損害保険料 67千円 貸出用農機具備品 46千円			R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞ アグリサポート振興事業運営業務委託 7,689千円（7,172千円） 印刷製本費 31千円（28千円） 消耗品費 20千円（20千円） 損害保険料 67千円（67千円） 貸出用農機具備品 46千円（99千円）										

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	62	事業名	アグリサポート振興事業 (中事業名) -		担当課		みどりの推進課					
					予算区分（款-項-目-中事業）		-					
					決算書ページ		- ~ -					
I 基本情報	総合計画	基本目標	3	みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物								
		政策	2	農あるくらしの推進								
		施策	(2)	農の多様な担い手の育成								
	その他	開始年度	R3									
		終了予定年度	年度	☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働不可				
		根拠法令等	長久手市農地マッチング支援事業実施要綱									
		関連計画	なし									
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
		【対象】 ☐ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☒ その他 対象の数： 不明 【事業内容】 アグリサポート振興事業を導入し、農地のマッチング等、様々な人が行う農に関わる取組を応援します。		【アクションプラン指標】 農地の貸し手と借り手のマッチング件数(件)【単年】 【その他指標】 ホームページ等で制度の周知を図る。【単年】 【その他指標】 マッチングの可能性がある所有者に意向調査を行う。【単年】		農地の有効利用、担い手の営農規模の拡大及び新規就農の促進を図り、遊休農地及び耕作放棄地の発生防止及び解消に寄与する。 (成果指標名) 農地の貸し手と借り手のマッチング件数(件)【単年】		大 事 業 共 通 農地の有効利用、担い手の営農規模の拡大及び新規就農の促進を図り、遊休農地及び耕作放棄地の発生防止及び解消に寄与する。				
	II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度	R9(2027)年度	R10(2028)年度
1			【アクションプラン指標】 農地の貸し手と借り手のマッチング件数(件)【単年】	件	基準値	5	目標値	5	5	5	5	
					目標値	5	実績	31				
2			【その他指標】 ホームページ等で制度の周知を図る。【単年】	回	基準値	-	目標値	1	1	1	1	
					目標値	-	実績	1				
3			【その他指標】 マッチングの可能性がある所有者に意向調査を行う。【単年】	回	基準値	-	目標値	1	1	1	1	
					目標値	-	実績	1				
4					基準値		目標値					
		目標値				実績						
エピソード		事業開始の背景		農地の有効利用、担い手の営農規模の拡大及び新規就農の促進を図り、遊休農地及び耕作放棄地の発生防止及び解消する必要性があったため。								
	各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
	R6	ホームページ等で制度の周知を図り、またマッチングの可能性がある所有者に意向調査を行った。結果として22件の貸し手希望登録があり、31件のマッチングが成立した。			R7							
	R8				R9							

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標							
		農地の貸し手と借り手のマッチング件数(件) 【単年】	件	H26 年度	H31 年度	【現状】 R6 年度	R8 年度	R11 年度			
				—	—	31	5	5			
		成果達成状況		指標目標値の根拠							
		A	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている	実績と問合せの状況等から設定した。							
	評価の理由、分析										
	制度が浸透してきていることと、耕作意欲の向上が考えられる。										
	加える変化（ACTION）	今後の方向性	今後の方向性の理由								
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止	実績と問合せの状況等から現状維持とする。							
		改善ポイント (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)									
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容				見直し可能年度				
1 農業者等の周知を図る。		☒ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	農業者との協議の場において周知を図る。				R 7				
Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3 年 間 の 推 移	(単位：千円)	R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度	
		—	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		事業費	予算	決算	予算	決算	予算	
						0	0	0	0	0	
		理由			特定財源	合計額	0	0	0	0	0
						(内 国費)	0	0	0	0	0
						(内 県費)	0	0	0	0	0
						(内 諸収入)	0	0	0	0	0
						(内 その他)	0	0	0	0	0
		一般財源	0		0	0	0	0			
		積算額			R7年度予算の内訳 <細々節名、 予算額、（R6年度予算額）>						

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	63	事業名	新規就農支援事業 (中事業名) 新規就農支援事業		担当課		みどりの推進課					
					予算区分（款-項-目-中事業）		5-1-3-1 新規就農支援事業					
					決算書ページ		163 ~ 164 一般					
I 基本情報	総合計画	基本目標	3	みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物								
		政策	2	農あるくらしの推進								
		施策	(2)	農の多様な担い手の育成								
	その他	開始年度	H26									
		終了予定年度	年度	☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働不可				
		根拠法令等	農業人材強化総合支援事業実施要綱（国）、長久手市農業次世代人材投資事業補助金交付要綱									
		関連計画	なし									
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
		【対象】 ☐ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☒ その他 対象の数： 不明		【アクションプラン指標】 新規就農者数（新規資金交付 対象者数）（人）【単年】		次世代を担う農業者となること を志向する者に対し、就農 前の研修を後押しする資金や 就農直後の支援をすることで 経営を確立できる。 (成果指標名) 新規就農者数（新規資金交付 対象者数）【単年】		農の多様な担い手が育成さ れ、市内の農業が活性化し、 遊休農地の減少につながる。 あぐりん村に出荷する生産者 が増加し、生産者同士や市民 と交流することで、地域の活 性化につながる。				
		【事業内容】 青年の就農意欲の喚起と就農 後の定着を図るため、一定の 要件を満たす人を対象として 農業次世代人材投資資金を交 付します。						大 事 業 共 通				
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
		1	【アクションプラン指標】 新規就農者数（新規資金交付対象者数） 【単年】	人	基準値	0	目標値	1	1	1	1	
					目標値	1	実績	0				
		2			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		3			基準値		目標値					
					目標値		実績					
	4			基準値		目標値						
				目標値		実績						
	エピソード	事業開始の背景		平成26年度から市が青年等就農計画を認定し、新規就農者へ支援を行うこととなり、次世代を担う農業者となることを志向するものに対し、資金を交付し、就農前の研修段階及び就農直後の経営確立を図る必要性があったため。								
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
		R 6	新規資金の活用者がいなかったため目標を達成できなかった。		R 7							
		R 8			R 9							

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標						
		新規就農者数（新規資金交付対象者数）【単年】		人	H26 年度	H31 年度	【現状】 R6 年度	R8 年度	R11 年度		
					1	6	0	1	1		
		成果達成状況				指標目標値の根拠					
		D	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている				毎年1人新規就農者を確保する目標のため。				
		評価の理由、分析									
		新規資金交付希望者がおらず、目標人数を達成することができなかったため。									
		今後の方向性		今後の方向性の理由							
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		国の事業であるため、制度に関して市の裁量はないが、事業を活用してもらうための広報活動は実施する必要がある。						
		改善ポイント （成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）									
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容				見直し可能年度				
1	制度のPR	☒ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	農楽校の受講者に制度のPRを行う。				R 7				
2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止									
3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止									
Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		（単位：千円）		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度	
		B A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		事業費		予算	決算	予算	決算	予算	
		理由		合計額		3,000	2,250	3,000	1,500	1,200	
		国の制度であるため、改正が無い限り現状維持となる。		（内 国費）		3,000	2,250	3,000	1,500	1,200	
				（内 県費）							
				（内 諸収入）							
				（内 その他）							
		積算額		一般財源		0	0	0	0	0	
		1,200千円／年×交付対象者1人		R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞ 新規就農支援事業 農業次世代人材投資事業補助金 1,200千円（3,000千円）							
				3年間の推移							

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	64	事業名	農福連携事業		担当課		福祉課					
			(中事業名) 障がい者福祉事務事業		予算区分（款-項-目-中事業）		1-4-2-1 障がい者福祉事務事業					
					決算書ページ		- ~ -					
I 基本情報	総合計画	基本目標	3	みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物								
		政策	2	農あるくらしの推進								
		施策	(2)	農の多様な担い手の育成								
	その他	開始年度	—									
		終了予定年度	年度	☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可				
		根拠法令等										
	関連計画	障害者基本計画										
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 約2,000人 【事業内容】 農業を活用した障がいのある 人の雇用機会の拡大や、人手 不足による耕作放棄地の有効 活用のため、農福連携に取り 組めます。		【アクションプラン指標】 農業に携わった障がいのある 人の人数【半年】 ...▶▶▶ 【その他の指標】		障がいのある人が社会参加が できる。 (成果指標名) 農福連携に取り組む事業所の うち、農作業が障がいのある 人の就労や生きがいづくりに 役立っていると回答した割合		大 事 業 共 通 障がいのある人が就労等の社会 参加を通じて地域で活躍で きる。				
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
		1	【アクションプラン指標】 農業に携わった障がいのある人の人数【半年】	人	基準値	58	目標値	60	60	60	60	60
					目標値	60	実績	61				
		2			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		3			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		4			基準値		目標値					
	目標値					実績						
	エピソード	事業開始の背景		国において2010年代から本格的に農福連携の推進が開始。現在は、「農福連携等推進ビジョン（2024改訂版）」が策定され、これに基づき都道府県・市町村の取組が重要とされている。								
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
		R 6	現在、5事業所が農作業を行っており、大きな人数の変動はない。障がいのある人が生産した作物は、販売や弁当の材料として活用され、障がいのある人の工賃向上にもつながっている。		R 7							
		R 8			R 9							

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標										
		農福連携に取り組む事業所のうち、農作業が障がいのある人の就労や生きがいにづくりに役立っていると回答した割合		%	－年度	▶	－年度	▶	【現状】	R6 年度	▶	R7 年度	▶	R8 年度	
					－				100		100		100		
		成果達成状況				指標目標値の根拠									
		C	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている				事業所への照会結果を元に設定した。 ※令和6年度から指標に係る数値を確認								
			評価の理由、分析												
			事業者の評価として、「生きがい」については評価ができるが、「就労」については工賃にはつながりにくい場合もあるとの声もあったため												
		今後の方向性		今後の方向性の理由											
		加える変化（ACTION）	B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		事業者主体で取組を進めているため									
				改善ポイント											
（成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）															
見直しの余地のある取組名				見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容									見直し可能年度	
1	農福連携事業			☒ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	働きづらさを抱える人が体験的に就労できるよう、地域の農業者に受入れを依頼していく。									R7	
2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止													
3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止													
Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		（単位：千円）		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度					
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		事業費		予算	決算	予算	決算	予算				
					0		0	0	0	0					
			理由		特定財源	合計額									
		予算事業として取り組む予定はないが、必要に応じて事業所の取組の現状把握等を行う。		（内 国費）											
				（内 県費）											
				（内 諸収入）											
				（内 その他）											
		一般財源													
		積算額		R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞ なし											
		3年間の推移													

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	65	事業名	地球温暖化対策設備導入促進事業 (中事業名) 環境基本計画推進事業		担当課		環境課					
					予算区分（款-項-目-中事業）		4-1-3-2 環境基本計画推進事業					
					決算書ページ		152 ~ 152 一般					
I 基本情報	総合計画	基本目標	3	みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物								
		政策	3	地球にやさしい持続可能な社会の構築								
		施策	(1)	くらしの低炭素化の推進								
	その他	開始年度	H30									
		終了予定年度	年度	☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性			両者と協働不可			
		根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律、気候変動適応法等									
		関連計画	長久手市環境基本条例、第4次長久手環境基本計画									
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような状態に変わるのか)			④最終成果 (大事業の将来像)			
		【対象】 ☒ 市民 ☒ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 100 【事業内容】 地球温暖化対策の推進に向け、既存住宅のスマートハウス化を図るため、創エネ、省エネ、蓄エネ設備の設置に対する補助を行います。		【アクションプラン指標】 スマートハウス化に対する支援件数【累計】 【その他の指標】 広報紙やホームページでのPR		人と地域がつながり、自然と環境にこだわるまちを目指して行動する人々が増える。 (成果指標名) スマートハウス化に対する支援件数【累計】			大 事 業 共 通 くらしの安心や健康、幸せや豊かさを実感できる。環境を通じて、地域、自然、世界とつながる物語が生まれる。			
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
		1	【アクションプラン指標】 スマートハウス化に対する支援件数【累計】	件	基準値	49	目標値	59	69	79	89	100
			目標値		100	実績	40					
		2	【その他の指標】 広報紙やホームページでのPR	件	基準値	1	目標値	1	1	1	1	1
			目標値		1	実績	1					
		3			基準値		目標値					
			目標値			実績						
		4			基準値		目標値					
			目標値			実績						
		事業開始の背景 地球にやさしい低炭素社会構築の一環として、エコ住宅・環境共生住宅を広く普及させ、住宅の省エネルギー化、再生可能なエネルギーの導入拡大、エネルギーの地産地消及び災害時に活用可能な設備導入の促進を支援すること										
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
		エピソード	R 6	40件の補助を行った。 ・スマートハウス（太陽光発電設備、HEMS、リチウムイオン蓄電池またはV2H） 10 件 ・HEMS 11件 ・リチウムイオン電池 18件 ・V2H 1件 例年、予算額は同額で、予算額は全額執行していることから、予算額が増額がないと、実績は増えない。				R 7				
			R 8					R 9				

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標								
		スマートハウス化に対する支援件数【累計】		件	R2 年度	▶	年度	▶	【現状】 R6 年度	▶	年度	▶	R12 年度
					44				40			100	
		成果達成状況					指標目標値の根拠						
		B		A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている		スマートハウス化に対する支援件数【年間】 ・高性能外皮等 ZEH 年間補助件数 ・スマートハウス（太陽光発電設備、HEMS、リチウムイオン蓄電池またはV2H） 年間補助件数 ・HEMS 年間補助件数 ・リチウムイオン電池 年間補助件数 ・V2H 年間補助件数 【R12年度目標100とした理由】 毎年10件ずつ、補助件数を増やしていくと丁度100件となるが、予算額の増額がないと、実績は増えない。							
		評価の理由、分析											
		毎年度途中（8月頃）に予算が上限に達してしまうほど、市民から需要のある事業である。本市は愛知県内の他の市町村と比較して、住宅地の割合が多く、カーボンニュートラルの達成には市民の取組が不可欠である。											
		今後の方向性		今後の方向性の理由									
		B		A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		令和6年度と令和7年度に地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改定を行い、その中で、どういった事業を実施すべきかを検討していく。							
		加える変化（ACTION）	改善ポイント （成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）										
見直しの余地のある取組名			見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容							見直し可能年度		
1	スマートハウス化に対する支援（補助）事業		☐ 拡充 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	例年、補助金の予算が全額執行され、申請順に早い者順で補助している。補助に漏れてもスマートハウス化に努めてもらえるように、温室効果ガスの実質ゼロを目指す必要性について広報活動を実施する。							R 8		
2			☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止										
3			☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止										
Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）		R8年度の費用（R7年度比）		（単位：千円）		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度		
		B		A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		事業費		予算	決算	予算	決算	予算	
						2,070	2,060	2,070	2,000	2,070			
		理由		特定財源	合計額	516	514	518	498	517			
		廃止に向け検討するが、地球温暖化防止対策に効果的な代替となり得る新規の施策が実施されるまでは継続する。			（内 国費）								
					（内 県費）	516	514	518	498	517			
					（内 諸収入）								
					（内 その他）								
		積算額		一般財源	1,554	1,546	1,552	1,502	1,553				
		住宅用地球温暖化対策設備導入促進費補助金 2,070,000円（前年同額）		R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞									
・高性能外皮等 ZEH 450,000円 ・スマートハウス（太陽光発電設備、HEMS、リチウムイオン蓄電池またはV2H）800,000円 ・HEMS 70,000円 ・リチウムイオン電池 700,000円 ・V2H 50,000円		3年間の推移											

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	66	事業名	剪定枝粉碎機無償貸出事業 (中事業名) 緑化推進事務事業		担当課		みどりの推進課					
					予算区分（款-項-目-中事業）		7-4-5-1 緑化推進事務事業					
					決算書ページ		184 ~ 一般					
I 基本情報	総合計画	基本目標	3	みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物								
		政策	3	地球にやさしい持続可能な社会の構築								
		施策	(1)	くらしの低炭素化の推進								
	その他	開始年度	令和5年度									
		終了予定年度	年度	☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		市民とのみ協働可				
		根拠法令等	無し									
		関連計画	無し									
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 60,000人 【事業内容】 市民の維持管理の負担及び剪定枝等の活用によるゴミ軽減のため、家庭用剪定枝粉碎機を市民へ貸出しを行います。		【アクションプラン指標】 剪定枝粉碎機の貸出し件数 (件) 【累計】 【その他の指標】		市民の維持管理の負担が軽減されることにより、緑地を保全する意識を持つ。 (成果指標名) 剪定枝粉碎機の貸出し件数 (件)		大事業共通 家庭用剪定枝粉碎機を市民へ貸出すことにより、健全な緑化の保全、ゴミの軽減化が図られる。				
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値 (2023年) 目標値 (2028年) ※AP指標のみ	区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
		1	【アクションプラン指標】 剪定枝粉碎機の貸出し件数【累計】	件	基準値 14 目標値 90	目標値 実績	30 56	45	60	75	90	
		2			基準値 目標値	目標値 実績						
		3			基準値 目標値	目標値 実績						
		4			基準値 目標値	目標値 実績						
		事業開始の背景 令和5年度より市民の維持管理の負担軽減や剪定枝の活用によるゴミ軽減を図るため、貸出事業を開始することとなった。										
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
		R6	・剪定枝粉碎機貸出件数 56件 (R5:18件、R6:38件) ・今まで市役所で申込みを行い、旧集出荷選果場にて貸出しを行っていたが、申込場所と貸出場所が異なるため、利用者から改善の要納をいただいていた。市役所にて申込みから貸出しまで一括で行うように改善を行ったことで、実績の増加に繋がったと考える。	R7								
		R8		R9								

Ⅲ 事業の成果・課題分析 （アウトカムの詳細）	成果指標 （CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標						
		剪定枝粉碎機の貸出し件数（件）		件	- 年度	R5 年度	【現状】 R6 年度	R8 年度	R10 年度		
					-	18	56	60	90		
		成果達成状況					指標目標値の根拠				
		A	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている					事業開始年度に18件の申請があったため、毎年15件の件数として設定。 活動指標と同様であるが、「貸出件数＝維持管理の簡素化による民有地緑化の保全」と捉えることができるため、同様の指標を採用した。			
	評価の理由、分析										
	目標値30件に対し56件の受付があり、大幅に増加した。貸出し事務の改善（R6エピソード参照）が効果が出ていると考える。										
	加える変化 （ACTION）	今後の方向性		今後の方向性の理由							
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		一定数の貸出件数があるため、現状維持を行い、緑化振興を図る。						
			改善ポイント （成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）								
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容					見直し可能年度			
1		剪定枝粉碎機貸出方法	☐ 拡充 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	現在、来庁いただかないと貸出申込が出来ない運用であるため、利用者が簡単に申込できるよう改善を行う。					R9		
2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止									
3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止									
Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性 （PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		（単位：千円）		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度	
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		事業費	予算	決算	予算	決算	予算	
						929	899	957	852	793	
		理由		特定財源	合計額	760	753	840	779	718	
		従来通りの運用を継続するため			（内 国費）	0	0	0	0	0	
					（内 県費）	680	673	680	644	618	
					（内 諸収入）	80	80	160	135	100	
					（内 その他）	0	0	0	0	0	
		積算額		一般財源	169	146	117	73	75		
				R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞ 修繕料 10千円（10千円） 損害保険料 1千円（1千円） 道路通行料 4千円（4千円） 日本花の会負担金 50千円（50千円） 日本さくらの会負担金 10千円（10千円） たねダンゴ体験講習会事業委託 278千円（348千円） ガーデニング講習会事業委託 440千円（534千円）							
				3年間の推移							

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	67	事業名	接道緑化設置補助事業 (中事業名) 接道緑化設置補助事業		担当課		みどりの推進課					
					予算区分（款-項-目-中事業）		7-4-5-2 接道緑化設置補助事業					
					決算書ページ		184 ~ 185 一般					
I 基本情報	総合計画	基本目標	3	みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物								
		政策	3	地球にやさしい持続可能な社会の構築								
		施策	(1)	くらしの低炭素化の推進								
	その他	開始年度	令和6年度									
		終了予定年度	年度	☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		市民とのみ協働可				
		根拠法令等	無し									
		関連計画	長久手市みどりの推進計画、長久手市緑の基本計画									
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		アウトプット（詳細はⅡへ）		③中間成果 (①【対象】がどのような状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 60,000人 【事業内容】 接道部の緑化を奨励することで、みどりの育成を推進し、潤いのある市街地を形成します。		【アクションプラン指標】 接道緑化設置件数 【その他の指標】		件数が増えることで、まちの緑が増加する (成果指標名) 接道緑化のみなし延長		大事業共通 接道部の緑化が増加することにより、市街地において、緑あふれる潤いのあるまちとなる。				
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度	R9(2027)年度	R10(2028)年度	
		1	【アクションプラン指標】 接道緑化設置件数（累計）	件	基準値	-	目標値	5	10	15	20	25
					目標値	25	実績	2				
		2			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		3			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		4			基準値		目標値					
					目標値		実績					
	エピソード	事業開始の背景		従前の「①長久手市生垣設置補助金」及び「②長久手市屋上・壁面緑化助成金」について、申請件数が低迷していた。②については廃止を決断し、①についてはより柔軟に利用できるよう要綱を改正し、接道部分の緑化を推進することとした。								
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
		R6	・補助金交付件数 2件 令和6年度からの新規事業の為、広報、ホームページ、案内チラシの設置（各共生ステーション、あぐりん村、ハウジングセンター及びみどりの推進課窓口）やデジタルサイネージを活用したPRを行った。結果としては目標件数を下回ったため、令和7年度については更なるPRを進める必要がある。		R7							
R8				R9								

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標									
		接道緑化のみなし延長	m	－ 年度	▶	－ 年度	▶	【現状】 R6 年度	▶	R8 年度	▶	R10 年度	
				－	－	44	▶	45	▶	75			
		成果達成状況				指標目標値の根拠							
		A	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている				接道緑化補助金の補助対象要件として、接道緑化のみなし延長※1が3m以上必要である。毎年5件の受付をアクションプランの活動指標として掲げているため、毎年15m分ののみなし延長の増加を目標として設定する。 ※1 補助要綱で植える樹木の区分毎にのみなし延長が規定されています（高木:4.2m、中高木:3.2m、中木:2.2m等）。						
			評価の理由、分析										
		令和6年度の目標が15mに対し、44、24mの実績であった。アクションプラン指標の件数としては少なかったが、実際に現場に植えられた緑化としては、目標を上回った。											
		今後の方向性		今後の方向性の理由									
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		より市民に利用してもらうため、PR活動を積極的に行う。								
			改善ポイント (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)										
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容							見直し可能年度			
1	開発協議案件へのPR（店舗、アパート等への周知）	☐ 拡充 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	開発協議の案件に係る店舗やアパート等については、都市計画課と連携し、事前相談の段階でPRをしていく。							R7			
2	ハウジングセンターへの戸別訪問（専用住宅への周知）	☐ 拡充 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	市民が専用住宅の相談をする場所としてハウジングセンターが多い。よって、ハウジングセンターの各事業所にチラシの配布及び説明を行い、PRを行う。							R7			
3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止											
Ⅳ 費用	加える変化（ACTION）	R8年度の費用（R7年度比）		(単位：千円)		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度			
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止	理由	事業費	予算	決算	予算	決算	予算			
						246	92	359	74	359			
		継続して事業を推進する	特定財源	合計額	0	0	0	0	0				
				(内 国費)	0	0	0	0	0				
				(内 県費)	0	0	0	0	0				
				(内 諸収入)	0	0	0	0	0				
				(内 その他)	0	0	0	0	0				
		一般財源	246	92	359	74	359						
		積算額	R7年度予算の内訳 <細々節名、予算額、(R6年度予算額)> 接道緑化設置補助金 359千円 (359千円)										
令和8年度予算の方向性（PLAN）		3年間の推移											

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	68	事業名	環境配慮行動促進事業 (中事業名) 環境基本計画推進事業		担当課		環境課					
					予算区分（款-項-目-中事業）		4-1-3-1 環境基本計画推進事業					
					決算書ページ		152 ～ 152 一般					
I 基本情報	総合計画	基本目標	3	みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物								
		政策	3	地球にやさしい持続可能な社会の構築								
		施策	(1)	くらしの低炭素化の推進								
	その他	開始年度	令和4年度									
		終了予定年度	年度	☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可				
		根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律、気候変動適応法等									
		関連計画	長久手市環境基本条例、第4次長久手環境基本計画									
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 【事業内容】 地球温暖化を防ぎ自然災害に強いまちにするため、省エネや節電、環境に配慮した製品の選択等、一人ひとりの積極的な環境行動を支援します。		【アクションプラン指標】 環境配慮行動促進事業への参加者数【累計】 【その他の指標】 広報紙やホームページでのPR		人と地域がつながり、自然と環境にこだわるまちを目指して行動する人々が増える。 (成果指標名) 環境配慮行動促進事業への参加者数【累計】		大事業共通 くらしの安心や健康、幸せや豊かさを実感できる。環境を通じて、地域、自然、世界とつながる物語が生まれる。				
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度	R9(2027)年度	R10(2028)年度	
		1	【アクションプラン指標】 環境配慮行動促進事業への参加者数【累計】	人	基準値 2,666 目標値 3,666	目標値	2,866 実績 2,806	3,066	3,266	3,466	3,666	
		2	【その他の指標】 広報紙やホームページでのPR	件	基準値 1 目標値 1	目標値	1 実績 1	1	1	1	1	
		3			基準値 目標値	目標値 実績						
		4			基準値 目標値	目標値 実績						
	エピソード	事業開始の背景		第4次長久手市環境基本計画（令和3年度～）を策定した。令和4年1月4日にゼロカーボンシティ宣言し、市民に将来の地球環境のために、市民一人一人の取り組みが重要であることを発信した。								
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
		R6	・令和6年度、ecoチャレンジ事業を実施し、137人のエントリーがあった。令和6年度、太陽光発電設備共同購入事業に3件の契約があった。ゆえに2,666人+137人+3人=2,806人。 ・市民に環境配慮行動を促す取組、PR、広報など不十分であった。問題意識を持って自分ごととして、市民が行動を自発的に起こすことが出来なかった。		R7							
		R8			R9							

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標									
		環境配慮行動促進事業への参加者数【累計】		人	R4 年度	R5 年度	【現状】	R6 年度	年度	R10 年度				
					2,666		2,806			3,666				
		成果達成状況					指標目標値の根拠							
		D		A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている			・e c o チャレンジ事業のエントリー数 ・太陽光発電設備共同購入事業のエントリー数							
		評価の理由、分析												
		環境配慮行動促進事業への参加者数が目標値を下回った。市民に環境配慮行動を促す取組、P R、広報など不十分であった。問題意識を持って自分ごととして、市民が行動を自発的に起こすことが出来なかった。												
		加える変化（ACTION）	今後の方向性		今後の方向性の理由									
			A		A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止			環境配慮行動を促すため、環境に関するイベントや啓発のため、広報活動を実施する。						
			改善ポイント											
（成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）														
見直しの余地のある取組名			見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容							見直し可能年度			
1	太陽光発電設備共同購入事業		☐ 拡充 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	啓発のためのチラシに地球環境や気候変動、CO ₂ （温室効果ガス）の問題を載せる等し、危機的状況を見る人に訴える。							R8			
2			☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止											
3			☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止											
Ⅳ 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）		R8年度の費用（R7年度比）		3年間の推移	（単位：千円）		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度		
			B			事業費		予算	決算	予算	決算	予算		
		A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		100		99	100	89	100					
		理由		特定財源		合計額								
		今後、改定される地球温暖化対策（区域施策編）、環境基本計画の見直しにより、拡充の方向を検討している。				（内 国費）								
						（内 県費）								
						（内 諸収入）								
						（内 その他）								
		積算額		一般財源		100	99	100	89	100				
		令和7年度予算と同額100,000円（e c o チャレンジ事業の参加賞等購入費）		R7年度予算の内訳 <細々節名、予算額、（R6年度予算額）> 環境啓発事業景品 100千円（100千円）										

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度					
事業番号	69	事業名	循環型社会推進事業		担当課		環境課					
			(中事業名) 循環型社会推進事業		予算区分（款-項-目-中事業）		4-2-1-1 循環型社会推進事業					
					決算書ページ		157 ~ 159 一般					
I 基本情報	総合計画	基本目標	3	みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物								
		政策	3	地球にやさしい持続可能な社会の構築								
		施策	(2)	ごみの減量化・資源化								
	その他	開始年度	昭和42年度									
		終了予定年度	年度	☒	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		民間事業者とのみ協働可				
		根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律									
		関連計画	一般廃棄物処理基本計画									
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 全員 【事業内容】 循環型社会の構築に向けて、 ごみ・資源の収集、処理方法 のより一層の充実を図り、ご みの減量化・資源化を推進し ます。		【アクションプラン指標】 1人1日あたりの家庭系もえる ごみ排出量 【その他の指標】 ・ごみの組成調査におけるも えるごみ袋に含まれる資源混 入率を下げる ・分別講座・環境学習等出前 講座開催数を年2回以上開催 する		市民の資源分別意識、ごみそ のものの発生抑制行動が醸成 される。 (成果指標名) 1人1日あたりの家庭系もえる ごみ排出量		大 事 業 共 通 市民1人ひとりがごみに関する 課題について自分ごととして 捉え、分別やごみの発生抑制 を当たり前のこととして取り 組むようになる。				
	II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度
1			【アクションプラン指標】 1人1日あたりの家庭系もえるごみ排出量	g	基準値	430	目標値	448	441	434	427	420
			目標値		420	実績	426					
2			【その他指標】 ごみの組成調査におけるもえるごみ袋に含ま れる資源混入率	%	基準値	—	目標値	28	26	24	22	20
			目標値		—	実績	33					
3			【その他指標】 分別講座・環境学習等出前講座開催数	回	基準値	—	目標値	2	2	2	2	2
			目標値		—	実績	5					
4			基準値		目標値							
	目標値			実績								
エピソード	事業開始 の背景	昭和42年もえるごみ収集開始、昭和60年資源の分別収集試行開始										
	各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
	R 6	令和5年度に策定した一般廃棄物処理基本計画の施策内容を主に令 和4年度に策定した「ごみ減量・収集アクションプラン」の取組と することで実効性の高いものとした。令和6年度家庭系もえるごみ1 人1日あたりのごみ排出量は目標を達成したが、ごみの組成調査に おけるもえるごみ袋に含まれる資源混入率は目標を達成できなかった。 この結果により、ごみそのものの発生抑制は進んだが、ごみの 資源分別が進んでいないと分析している。	R 7									
R 8			R 9									

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標						
		1人1日あたりの家庭系もえるごみ排出量	g/日	H25 年度	H30 年度	【現状】 R6 年度	R10 年度	R15 年度		
				521	465	426	420	386		
		成果達成状況			指標目標値の根拠					
		C	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている			令和6年度から令和15年度までの10年間を計画期間とする一般廃棄物処理基本計画において、成果指標となっている「家庭系もえるごみ1人1日あたりのごみ排出量」を主要成果指標と位置づけているため。				
		評価の理由、分析								
		少しずつごみは減量しているが、このままでは目標を達成できない。令和6年度からの一般廃棄物処理基本計画の施策を実施することにより、毎年度家庭系もえるごみ1人1日あたりのごみ排出量の目標を達成していくため、現段階ではどちらともいえない評価である。								
		今後の方向性		今後の方向性の理由						
		A	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		令和6年度から令和15年度までの10年間を計画期間とする一般廃棄物処理基本計画において、成果指標となっている「家庭系もえるごみ1人1日あたりのごみ排出量」を毎年度検証することとなっているため。					
		改善ポイント （成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）								
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容				見直し可能年度			
1	プラスチックの一括回収	☒ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	現在プラスチックの中でも容器包装は資源として回収しているが、製品はもえるごみとして回収している。今後は瀬戸市及び尾張旭市と連携し、容器包装も製品も一括して資源として回収できるスキームを構築することで、もえるごみを減量するとともに資源を増やしていく。				R11			
2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止								
3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止								
Ⅳ 費用	加える変化（ACTION）	R8年度の費用（R7年度比）		（単位：千円）		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止	事業費	予算	決算	予算	決算	予算	
			244,041		227,475	264,825	249,857	264,952		
		理由		特定財源	合計額	91,647	87,450	91,377	88,538	96,728
		R8年度はR7年度と同等の内容の施策を進めるため。			（内 国費）					
					（内 県費）					
					（内 諸収入）	27,447	29,050	25,953	27,063	31,328
					（内 その他）	64,200	58,400	65,424	61,475	65,400
		積算額		一般財源	152,394	140,025	173,448	161,389	168,224	
		R7予算とほぼ同等だが、手数料や委託料は過去実績による積算をするため、多少変動する。		R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞						
令和8年度予算の方向性（PLAN）		3年間の推移								